

ANTENNA

2025年入試への万全の対策

第2回全統共通テスト模試

大学入試において「天王山」といわれる夏休みも終わり、いよいよ受験戦線が本格化する時期に差しかかりました。こうした状況の中、全国から327,333名の受験生が参加し実施された、第2回全統共通テスト模試の結果をお届けします。

今回の模試は実施時期を考慮して夏期の学習の成果を確認し、弱点科目・不得意分野の再発見を目的とする出題にしました。

「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」を活用して、今一度、基本的な事項をしっかりと確認し、応用力の養成の基盤を固めてほしいと思います。今の実力に甘んじることなく、今後ますますチャレンジ精神を発揮して、みごと栄冠を勝ち取るよう学習に励んでください。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内については、こちらをご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/



スマートフォンの方はこちら

も く じ

見直しシート	2
個人成績表の見方	3
成績統計資料	7
総合成績表	7
科目別成績表	8
教科科目別設問別成績表	10
設問別正答率表	14
学習対策	20
英語	20
数学	21
国語	21
理科	22
地理歴史	25
公民	26
情報	27
「成績推移」過回成績表示 申請について	29
お問い合わせ先一覧	31

* 本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と得点を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「3. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差が見ついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「2. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	得点/配点	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52/100	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	65/100
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.5~6をご確認ください。

1-(1) 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- ✓ 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

1-(1) 受験型	2年	あなたの得点	偏差値	学力レベル	全国		県内		校内		
					平均点	順位	平均点	順位	平均点	順位	
英語	90/100	70.4	S	50.6	6943 / 648902	49.6	61.6	5324 / 597282	69.0	56.7	9 / 289
リスニング	96/100	72.5	S	55.9	1624 / 627882	55.0	66.4	1269 / 579018	68.5	65.1	5 / 288
英語+L	186/200	72.8	S	106.8	2757 / 627166	105.0	128.8	2126 / 578390	121.8	101.8	4 / 288

1-(2) 合格可能性評価用成績

合格可能性評価の算出に利用する成績を表示しています。

- ✓ 共通テスト換算得点：今回の模試の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。

- ✓ 私人評価用偏差値：数学と国語の偏差値を表示しています。（志望大学の入試科目に応じて利用します）

全統共通テスト模試 個人成績表 第1面【秘】

1-(1) 受験型	2年	あなたの得点	偏差値	学力レベル	全国		県内		校内		
					平均点	順位	平均点	順位	平均点	順位	
英語	90/100	70.4	S	50.6	6943 / 648902	49.6	61.6	5324 / 597282	69.0	56.7	9 / 289
リスニング	96/100	72.5	S	55.9	1624 / 627882	55.0	66.4	1269 / 579018	68.5	65.1	5 / 288
英語+L	186/200	72.8	S	106.8	2757 / 627166	105.0	128.8	2126 / 578390	121.8	101.8	4 / 288

全統共通テスト模試 個人成績表 第2面【秘】

科目	得点	偏差値	学力レベル
英語	90	70.4	S
リスニング	96	72.5	S
英語+L	186	72.8	S

全統共通テスト模試 個人成績表 第2面【秘】

内容	得点	偏差値	平均点	標準偏差	得点率	偏差値率	学力レベル
1 読解-情報	10 / 10	6.6	7.1	1.0	100.0%	100.0%	Sレベル
2 読解-情報	18 / 20	11.0	13.7	2.0	90.0%	80.0%	Sレベル
3 読解-資料	15 / 15	10.4	11.8	1.3	100.0%	100.0%	Sレベル
4 読解-記事	11 / 16	5.8	6.1	0.3	68.8%	68.8%	Fレベル
5 読解-記事	15 / 15	6.8	8.5	1.7	100.0%	100.0%	Sレベル
6 読解-論説	21 / 24	9.1	9.6	0.5	87.5%	87.5%	Sレベル

全統共通テスト模試 個人成績表 第3面【秘】

科目	得点	偏差値	学力レベル
英語	90	70.4	S
リスニング	96	72.5	S
英語+L	186	72.8	S

全統共通テスト模試 個人成績表 第3面【秘】

科目	得点	偏差値	学力レベル
英語	90	70.4	S
リスニング	96	72.5	S
英語+L	186	72.8	S

全統共通テスト模試 個人成績表 第3面【秘】

内容	得点	偏差値	平均点	標準偏差	得点率	偏差値率	学力レベル
1 読解-情報	10 / 10	6.6	7.1	1.0	100.0%	100.0%	Sレベル
2 読解-情報	18 / 20	11.0	13.7	2.0	90.0%	80.0%	Sレベル
3 読解-資料	15 / 15	10.4	11.8	1.3	100.0%	100.0%	Sレベル
4 読解-記事	11 / 16	5.8	6.1	0.3	68.8%	68.8%	Fレベル
5 読解-記事	15 / 15	6.8	8.5	1.7	100.0%	100.0%	Sレベル
6 読解-論説	21 / 24	9.1	9.6	0.5	87.5%	87.5%	Sレベル

2 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- ✓ 大学・学部ごとの合格可能性評価、志望者内の順位、教科別成績などを表示しています。
- ✓ 合格可能性評価の記号の意味は右表のとおりです。受験教科・科目に不足がある場合などには、注意表示がされます。
- ✓ 第1志望~第4志望には「評価別人数」のグラフが表示しています。黒く塗りつぶされた得点（偏差値）帯があなたの位置を表しています。

- A：合格可能性評価80%以上
- B：合格可能性評価65%
- C：合格可能性評価50%
- D：合格可能性評価35%
- E：合格可能性評価20%以下
- G：教科・科目数の不足
- H：範囲不足

3 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差がついたのかを確認しましょう

- ✓ 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- ✓ あなたと同じ学力レベル層（S~Fレベル）の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- ✓ 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.5～6をご確認ください。

4. 正答・誤答マーク読み取り状況

具体的にどの問題でつまづいたのか、マークの塗り間違いはなかったか確認しましょう

問題ごとのマーク読み取り状況と正誤状況を表示しています。

全統共通テスト模試 個人成績表 第3面【秘】

学年: 高2 クラス: 1 性別: 男 受験番号: 1234567890

説明別成績 (あなたと同じ学力レベルとの比較)

内容	順位	全国	性別	平均値	偏差値	偏差率	偏差率	
1.小計総合	15	20	11.6	14.0	1	13.8	1.2	6.9%
2.国語	23	30	20.2	22.7	2	23.3	-0.3	-1.1%
3.英語	17	15	8.7	10.5	9	10.9	6.1	24.6%
4.数学	16	12	16.2	16.8	4	17.8	1.8	7.2%

国語

大問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
正誤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マーク	1	2	4	3	3	2	4	5	4	1	3	3

英語

大問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
正誤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マーク	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

数学

大問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
正誤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マーク	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

国語

大問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
正誤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マーク	1	2	4	3	3	2	4	5	4	1	3	3

河合塾

5. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

昨年度の全統共通テスト高2、今年度の第1～3回全統共通テスト模試、全統プレ共通テストの成績推移を表示しています。

全統共通テスト模試 個人成績表 第4面【秘】

学年: 高2 クラス: 1 性別: 男 受験番号: 1234567890

全統共通高2 (1月)

科目	得点	偏差値	レベル
英語	70	66.1	S
リスニング	60	59.2	B
数学1A	60	60.0	A
数学2A	61	61.9	A
数学3A	141	61.5	A

第1回共通テスト (5月)

科目	得点	偏差値	レベル
英語	81	64.6	A
リスニング	74	65.3	S
数学1A	58	58.0	B
数学2A	73	59.2	B
数学3A	131	59.0	B

第2回共通テスト (7月)

科目	得点	偏差値	レベル
英語	90	70.4	S
リスニング	96	72.5	S
数学1A	62	58.2	B
数学2A	80	66.5	S
数学3A	142	63.6	A

全統共通高2 (1月) 成績推移

科目	得点	偏差値	レベル
英語	70	66.1	S
リスニング	60	59.2	B
数学1A	60	60.0	A
数学2A	61	61.9	A
数学3A	141	61.5	A

第1回共通テスト (5月) 成績推移

科目	得点	偏差値	レベル
英語	81	64.6	A
リスニング	74	65.3	S
数学1A	58	58.0	B
数学2A	73	59.2	B
数学3A	131	59.0	B

第2回共通テスト (7月) 成績推移

科目	得点	偏差値	レベル
英語	90	70.4	S
リスニング	96	72.5	S
数学1A	62	58.2	B
数学2A	80	66.5	S
数学3A	142	63.6	A

河合塾

個人成績表の見方＜注釈＞

1-(1). 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■得点欄の*印はその科目の学力に対する注意を表します。その科目の偏差値が、あなたの受験した科目の偏差値の平均値より5ポイント以上下回る場合に付されます。

■総合成績には、英数国総合、「総合1」(受験型別)、「総合2」(文理別)の3種類があります。このうち総合1の「国理6-8型、国文6-8型、国公6-6型」以外は、すべて教科の偏差値の平均を用いて順位づけを行います。これは、各教科の成績(母集団内での位置)を考慮しながら、総合成績を評価するという方針によります。したがって、各教科の成績評価の尺度として偏差値を採用し、それらを総合して評価する際に、それらの平均を取るという方法で順位づけを行います。

■英数国総合は、英数国3教科以上を受験したすべての受験生が母集団です。偏差値は、英語の偏差値、数学①と数学②の偏差値の平均値、国語の偏差値の平均値です。

■総合1は受験型別により、次の各型の母集団内での位置づけを表します。

1型: 国理6-8型(英語+L、数学①、数学②、国語、理科2科目、地歴、公民1科目、情報)

2型: 国文6-8型(英語+L、数学①、数学②、国語、理科1科目、地歴、公民2科目、情報)

3型: 国公6-6型(英語+L、数学① or 数学②、国語、理科1科目、地歴、公民1科目、情報)

4型: 私立理系型

5型: 私立文系型

・「リスニング」未受験の場合は「英語」の成績を用いて集計します。

・3型は1型、2型を含んだ母集団によるものです。

1型から3型の偏差値は総合得点による偏差値、4型、5型の偏差値は各科目の偏差値の平均です。また、4型、5型は4教科以下の

受験者を対象とし、英語はリスニングを含まない成績を利用します。

■総合2は、文理別の位置づけを表します。

文系は英・国・「数 or 地 or 公」から2~3教科、理系は英・数・理から2~3教科の偏差値の平均です。

・文系または理系の区別は受験届の「文理別」欄のマークによります。未マークの場合は、最も高い志望順位にマークした国公立大学(マークしていない場合は私立大学)の文理区分によります。

・数学の偏差値は、①②両方を受験している場合は①②の平均を用います。片方のみを受験した場合は、その科目の偏差値を用います。

・理科、地歴、公民を複数科目受験している場合は、偏差値の高い科目を採用します。

■理科を2科目受験した場合は、上段に第1解答科目を表示します。また、数学、理科、地歴・公民において、選択科目のマーク漏れなどにより選択科目が特定できない場合、最も正答率が高い科目を採用するとともに、科目欄に「#」を表示します。

■校内成績の母集団は、現役生は在籍高校、高卒生のうち予備校生はその予備校です。また、偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示します。校内順位は、全国偏差値をもとに順位づけしています。

1-(2). 合格可能性評価用成績

■来年度入試において大学入学共通テストを課す大学については、共通テスト換算得点による合格可能性評価を行います。情報は得点をそのまま換算得点としています。詳しくは、個人成績表の第4面の説明を参照してください。

■共通テスト換算得点は、今年度の全統共通テスト模試の科目の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。今年度の全統共通テスト模試の中での位置づけが、直近の大学入学共通テストの得点分布ではどのような位置に相当するかを示すもので、来年度の大学入学共通テストの得点を予想するものではありません。※理科、地歴・公民において第2解答科目の共通テスト換算得点が第1解答科目より高い場合は“*”を表示します。

■私大評価用偏差値は、私立大の合格可能性評価に使う数学と国語の偏差値です。数学と国語は、より正確な学力評価を行うため志望大学の出題科目・範囲に合わせて合格可能性評価を行います。

・数学は、数学①(I A、I、旧I A)のみ受験した方は数学①、数学②(II B C、旧II B)のみ受験した方は数学②の偏差値が数学(1科目)の欄に表示されます。数学①②両方を受験した方は数学(1科目)の欄には数学①、数学(2科目)の欄には数学①②の偏差値が表示されます。(数学I Aまで課す大学は、数学①までの成績で

判定します)。

・国語は、3種類(現代文のみ(110点)、現代文・古文(155点)、現代文・古文・漢文(200点))の偏差値が表示されます。

・数学・国語以外の教科については「1-(1)成績概況」に表示された、各科目の偏差値を使用します。

2. 志望校別成績・評価

■河合塾の合格可能性評価は、模試ごとの志望者分布だけでなく今年度の全体志望動向を含めて予想しています。

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

■「定員」は、4年制大学および短期大学は募集人員、専門学校などは入学定員を表示しています。

・非公表の場合は河合塾推定で“*”を付しています。

・大学が若干名と公表している場合、もしくは、設定できない場合、募集人員を“0”と表示しています。

■志望した学部・学科の中で、第1志望者内での集計と総志望者での集計を行い、「順位」「平均偏差値」または「平均換算得点」を表示します。

・第1志望は、国公立大については前期、中期、後期の各日程内で最も志望順位の高い出願予定校の志望者を、私立大については私立大の中で最も志望順位の高い大学の志望者を集計対象としています。

・第2志望以下の大学・学部・学科における「第1志望者」欄の順位は、第1志望者の母集団に当てはめた場合の順位です。

■合格可能性評価

・志望大学に必要な教科・科目を1科目も受験していない場合は、合格可能性評価欄に「G」のみを付し、A~Eの評価は表示されません。

・志望大学に必要な教科・科目を一部受験していない場合は、国公立大、共通テスト利用私大・短大は不足科目を0点として扱い、一般の私立大・短大などは、受験している科目で評価偏差値を計算して評価を行い、合格可能性評価欄にG付きの評価(例: B G、C Gなど)を表示しています。



・合格可能性評価は、それぞれ次の意味を表します。

- A：合格可能性評価80%以上…今のところ合格圏にあります。このペースで頑張りましょう。
- B：合格可能性評価65%…油断大敵。合格圏へもうひとふんばりです。
- C：合格可能性評価50%…ボーダーライン。合格圏めざして頑張りましょう。
- D：合格可能性評価35%…これからの努力で、まだまだ伸びます。大いに頑張りましょう。
- E：合格可能性評価20%以下……再検討を要します。学習法を一考しましょう。
- G：教科・科目数の不足…志望大学入試に必要な教科・科目を受験していません。理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」2つを課している大学を志望しているが、理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を1つしか受験していない場合、「G」が付されるが、得点・偏差値は、評価に反映されます。
- H：範囲不足…以下のいずれかの場合表示されます。
- ・一般入試私大において英語（リスニング）、または数学の範囲が不足している場合。
 - ・理科（物理・化学・生物・地学）を課している一般入試私大を志望しているが、理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」しか受験していない場合。
- なお、選択科目がある場合、国公立大、共通テスト利用私大・短大の場合は、換算得点の高い方、私立大・短大・専門学校などの場合は偏差値が高い方の科目を通常は用いますが、一方の科目が範囲不足となっている場合は、成績に関わりなく範囲不足になっていないもう一方の科目を用いて合格可能性評価を行います。
- *：英・数・国・理・地公・情報の教科試験が課されない等の理由により、合格可能性評価を行いません。

■評価別人数

- 第1～第4志望には「評価別人数」グラフを表示しています。黒く塗られた得点（偏差値）帯があなたの位置を表しています。人数はそれぞれの得点帯または偏差値帯の人数です。各合格可能性評価の下限値となる得点帯または偏差値帯の左に評価を表示しています。
- ・第1～第4志望のグラフの母集団は国公立大は出願予定者、私立大（共通テスト利用私大・短大含む）は総志望者です。国公立大の場合は、出願予定以外の志望において、あなたの成績と同じ成績の方が第1志望の母集団にいない場合（人数が0人の場合）は、当該箇所「*」を表示しています。

- ・第5～第9志望の評価基準は下記 URL から確認できます。
www.kawai-juku.ac.jp/moshi/h
- ・BF（ボーダーフリー）とは、ボーダーラインが設定できなかった大学の募集区分（不合格者が少ないため、合格率50%となるボーダーラインがどの偏差値帯においても存在しないもの）を表しています。BFランクの大学・学部・学科のグラフは表示されません。
- 国公立大、共通テスト利用私大・短大の場合
- ・A～Dの表記はそれぞれの評価の得点帯の下限値を示します。
 - ・ボーダーラインはBとCの表示の間になります。
 - ・得点帯の幅(例えば10点ごとなど)は1つのグラフの中でも、一律とはならない場合があります。
- 私立大・短大・専門学校などの場合
- ・A～Dの表記はそれぞれの評価の偏差値帯の下限値を示します。
 - ・ボーダーランクはCの表示の偏差値帯です。
- 「教科別成績」
- 各志望校の教科別の「平均偏差値」「本人成績」「大学配点（各志望校の教科別配点）」が表示されます。
- ・出願予定大学以外の国公立大については、あなたの成績は集計対象の母集団に入っていません。
 - ・私立大・共通テスト利用私大の場合は、第2～第9志望の場合でもあなたの成績は母集団に含まれています。
 - ・平均偏差値は、当該大学を志望した受験者【国公立大は出願予定者（前期・中期・後期日程各1校まで）、その他は総志望者（第1～第9志望）】が、受験した科目（理科や地歴、公民で複数科目を受験している受験生については、それら全科目）の平均です。入試に課されない教科についても参考として表示しています。
 - ・本人成績は、国公立大、共通テスト利用私大・短大の場合は共通テスト換算得点（1-（2）合格可能性評価用成績参照）を入試の配点に換算した点数です。理科、地歴・公民で2科目以上受験し入試で課されている科目が1科目の場合は、第1解答科目を指定している場合は第1解答科目、第1解答科目を指定していない場合は共通テスト換算得点が高い方の得点が表示されます。
- 私立大・短大・専門学校などの場合は成績概況の欄の科目偏差値を表示しています（母集団はその科目を受験した方です）。理科、地歴、公民で2科目以上受験している場合は、入試で課されている科目が1科目であれば偏差値の高い方、2科目であればそれぞれの配点のウェイトをかけて計算した偏差値が表示されます。志望校の入試で教科間選択がある場合や、配点パターンが複数あり一律に決ま

らない場合、合格可能性評価に使用した教科の成績が表示されていません。

・下記の記号は、それぞれ次の意味を表します。

- R：第1解答科目に指定されている科目を第2解答科目で受験
- G：必須教科・科目数の不足
- H：範囲不足

・大学配点は、入試に課される教科の教科別の配点のうち、あなたの合格可能性評価に採用された教科について表示しています。ただし、あなたが受験していない教科については表示されません。

3. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

4. 正答・誤答マーク読み取り状況

■正誤状況の表示については以下の通りです。

- …正答
- ×…誤答
- △…部分点
- S…正解パターンが複数あり正誤が表示できないもの
- N…無回答・マークがうすい等
- W…余分にマークしている

5. 成績推移

■昨年度の全統共通テスト高2模試、今年度の第1～3回全統共通テスト模試、全統プレ共通テストの成績推移を表示しています。第1回全統共通テスト模試以降については、理科、地歴・公民は上段が第1解答科目になります。

◆ 総合成績表

受験者総数 **327,333**名

(現役：302,021名/高卒：25,312名)

「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は2つを1科目(100点満点)として扱っています。

- (注) 1. 国理6-8型は、英語+L、数学①、数学②、国語、理科2科目、地歴、公民1科目、情報の集計です。
 2. 国文6-8型は、英語+L、数学①、数学②、国語、理科1科目、地歴、公民2科目、情報の集計です。
 3. 国公6-6型は、英語+L、数学① or 数学②、国語、理科1科目、地歴、公民1科目、情報の集計で、国理6-8型、国文6-8型を含んだ母集団によるものです。
 また、理科および地歴、公民2科目受験の成績については、得点の高い方を使用します。
 4. 私立理系型、私立文系型で、理科および地歴、公民2科目受験の成績については、偏差値の高い方を使用します。
 5. 理系は英・数・理(1科目)、文系は英・国・数 or 地歴 or 公民(1科目)から2~3教科の平均偏差値です。
 6. 英数国総合は、全受験者の中で英数国を受験した全ての受験生を対象とし、英数国3教科の偏差値の平均値により順位付けを行います。

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
国理6-8型	1000	507.2	495.0	622.3	134.1	50.0	49.1	58.6	967	67	127975	115716	12259
国文6-8型	1000	487.6	480.6	618.7	128.1	50.0	49.5	60.2	960	20	83210	79023	4187
国公6-6型	800	411.5	403.6	505.9	105.9	50.0	49.3	58.9	777	20	220287	203347	16940
私立理系型	-----	-----	-----	-----	-----	46.3	45.9	50.1	-----	-----	23045	20721	2324
私立文系型	-----	-----	-----	-----	-----	47.1	46.9	49.8	-----	-----	77566	72051	5515
英数国総合	-----	-----	-----	-----	-----	50.6	50.2	55.2	-----	-----	246519	227773	18746
理系	-----	-----	-----	-----	-----	51.9	51.4	56.7	-----	-----	156499	141625	14874
文系	-----	-----	-----	-----	-----	50.3	50.0	53.4	-----	-----	168652	158398	10254

全国の受験者の中での位置を教科・科目別/志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「私大評価順位表」「型別順位表」「コース別順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の大学入学共通テスト・一般私大入試の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾 Web サイトに掲載しています。

スマートフォンの方は
こちら



www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

◆科目別成績表

〈全受験者〉

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	100	48.1	47.2	58.8	18.9	50.0	49.5	55.7	100	0	325068	300034	25034
リスニング	100	49.7	48.9	59.5	17.4	50.0	49.6	55.6	100	0	319364	295297	24067
英語+L	200	98.0	96.3	118.8	33.9	50.0	49.5	56.1	200	4	318930	294904	24026
数学I	100	29.9	29.5	38.4	16.1	50.0	49.8	55.3	86	0	1357	1293	64
数学IA	100	47.7	47.5	58.0	18.5	50.0	49.9	55.6	100	0	244043	238788	5255
旧数学IA	100	63.0	34.7	63.2	17.2	50.0	33.6	50.1	100	3	15265	103	15162
数学IIBC	100	46.1	45.7	59.6	18.5	50.0	49.8	57.3	100	0	229566	224100	5466
旧数学IIB	100	60.3	26.5	60.5	18.4	50.0	31.7	50.1	100	0	14649	124	14525
数学①②	200	96.8	94.5	122.7	35.7	50.0	49.3	57.3	200	0	243927	223939	19988
国語	200	92.6	91.3	107.9	31.2	50.0	49.6	54.9	200	0	312316	288795	23521
物理基礎	50	21.3	20.9	23.9	7.0	50.0	49.4	53.7	50	0	9729	8500	1229
物理	100	45.7	44.3	57.4	17.3	50.0	49.2	56.7	100	0	102171	91530	10641
化学基礎	50	22.0	21.7	27.6	8.8	50.0	49.7	56.4	50	0	69342	66111	3231
化学	100	41.9	40.3	56.2	17.7	50.0	49.1	58.1	100	0	137479	123714	13765
生物基礎	50	26.3	26.1	29.3	8.6	50.0	49.8	53.5	50	0	92924	89325	3599
生物	100	52.6	51.4	65.4	17.4	50.0	49.3	57.4	100	0	43830	39995	3835
地学基礎	50	24.1	23.9	26.7	9.0	50.0	49.8	52.8	50	0	35109	33125	1984
地学	100	40.3	38.4	46.6	19.4	50.0	49.0	53.3	97	3	509	395	114
世界史	100	43.9	43.8	48.2	15.9	50.0	49.9	52.7	100	0	53663	52868	795
旧世界史B	100	63.4	38.3	64.1	18.6	50.0	36.5	50.4	100	6	3493	93	3400
日本史	100	40.9	40.9	45.7	14.5	50.0	50.0	53.3	100	0	93871	92746	1125
旧日本史B	100	56.8	36.8	57.4	17.4	50.0	38.5	50.3	100	6	5427	164	5263
地理	100	41.1	41.0	47.4	14.4	50.0	49.9	54.4	100	0	100439	98483	1956
旧地理B	100	57.3	35.2	57.4	15.2	50.0	35.5	50.1	100	6	7300	50	7250
旧現代社会	100	53.3	35.8	53.9	14.5	50.0	37.9	50.4	93	7	1082	31	1051
倫理	100	50.2	50.0	57.9	14.2	50.0	49.9	55.4	96	0	23153	22443	710
旧倫理	100	60.9	35.3	61.9	18.3	50.0	36.0	50.5	100	12	420	15	405
政治経済	100	46.0	45.9	51.4	14.5	50.0	49.9	53.7	100	0	102337	100982	1355
旧政治経済	100	51.5	31.7	52.8	17.3	50.0	38.6	50.8	94	3	732	44	688
旧倫理政経	100	67.0	36.4	67.2	16.0	50.0	30.9	50.2	100	6	2975	25	2950
情報I	100	56.9	56.7	61.9	17.0	50.0	49.9	52.9	100	0	216626	211379	5247
旧情報	100	80.3	43.1	80.5	12.7	50.0	20.7	50.2	100	2	12133	59	12074

〈理系〉

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	100	49.9	48.8	60.9	-----	51.0	50.4	56.8	100	0	156771	141904	14867
リスニング	100	51.0	49.9	61.6	-----	50.7	50.1	56.8	100	0	153761	139615	14146
英語+L	200	101.2	98.9	123.1	-----	50.9	50.3	57.4	200	4	153569	139451	14118
数学I	100	31.9	31.7	38.9	-----	51.2	51.1	55.6	86	0	393	385	8
数学IA	100	51.9	51.6	61.3	-----	52.3	52.1	57.4	100	0	144495	140491	4004
旧数学IA	100	64.7	37.0	64.8	-----	51.0	34.9	51.1	100	4	10909	64	10845
数学IIBC	100	50.6	50.2	63.2	-----	52.4	52.2	59.2	100	0	140913	136461	4452
旧数学IIB	100	62.6	29.3	62.8	-----	51.3	33.2	51.4	100	0	10371	69	10302
数学①②	200	104.9	102.5	127.1	-----	52.3	51.6	58.5	200	0	151122	136369	14753
国語	200	93.4	91.7	110.0	-----	50.3	49.7	55.6	200	0	143887	130606	13281
物理基礎	50	19.0	19.0	20.3	-----	46.7	46.7	48.6	46	0	2841	2748	93
物理	100	45.8	44.4	57.4	-----	50.0	49.3	56.8	100	0	101720	91120	10600
化学基礎	50	19.6	19.5	22.5	-----	47.3	47.2	50.5	50	0	8276	8054	222
化学	100	41.9	40.3	56.2	-----	50.0	49.1	58.1	100	0	136804	123068	13736
生物基礎	50	24.4	24.4	26.3	-----	47.8	47.8	50.0	50	0	6598	6442	156
生物	100	52.9	51.7	65.7	-----	50.2	49.5	57.5	100	0	42869	39086	3783
地学基礎	50	19.6	19.6	19.3	-----	45.0	45.0	44.7	44	0	592	547	45
地学	100	43.5	41.9	48.8	-----	51.7	50.8	54.4	97	3	403	306	97
世界史	100	44.9	44.7	50.6	-----	50.6	50.5	54.2	97	0	3407	3286	121
旧世界史B	100	60.0	30.1	60.4	-----	48.2	32.1	48.4	100	6	499	7	492
日本史	100	42.1	41.9	49.9	-----	50.8	50.7	56.2	100	3	8099	7921	178
旧日本史B	100	56.6	39.1	56.7	-----	49.9	39.8	49.9	97	7	1459	12	1447
地理	100	41.0	40.8	47.5	-----	49.9	49.8	54.4	100	0	83895	82300	1595
旧地理B	100	56.9	35.4	57.0	-----	49.7	35.6	49.8	96	6	5823	28	5795
旧現代社会	100	53.0	29.5	53.4	-----	49.8	33.6	50.1	91	15	536	10	526
倫理	100	50.6	49.9	59.9	-----	50.3	49.8	56.8	96	6	6701	6239	462
旧倫理	100	61.9	37.0	62.6	-----	50.6	36.9	50.9	100	12	176	5	171
政治経済	100	47.7	47.6	54.7	-----	51.2	51.1	56.0	94	0	23831	23206	625
旧政治経済	100	49.3	21.0	50.9	-----	48.7	32.4	49.6	90	6	148	8	140
旧倫理政経	100	64.4	38.3	64.6	-----	48.4	32.1	48.5	100	9	1284	6	1278
情報I	100	59.8	59.6	64.0	-----	51.7	51.6	54.2	100	0	124847	120927	3920
旧情報	100	80.7	51.0	80.8	-----	50.3	26.9	50.4	100	2	8673	25	8648

〈文 系〉

	配 点	平 均 点			標 準 差	平 均 偏 差 値			最 高 点	最 低 点	人 数		
		全 体	現 役	高 卒		全 体	現 役	高 卒			全 体	現 役	高 卒
英 語	100	46.4	45.8	55.6	-----	49.1	48.8	54.0	100	0	168297	158130	10167
リスニング	100	48.5	48.0	56.5	-----	49.3	49.0	53.9	100	0	165603	155682	9921
英語+L	200	95.1	94.0	112.6	-----	49.1	48.8	54.3	200	8	165361	155453	9908
数学I	100	29.1	28.5	38.4	-----	49.5	49.2	55.3	82	0	964	908	56
数学I A	100	41.7	41.6	47.5	-----	46.8	46.7	49.9	100	0	99548	98297	1251
旧数学I A	100	58.8	31.1	59.1	-----	47.6	31.5	47.7	100	3	4356	39	4317
数学II B C	100	38.8	38.8	44.0	-----	46.1	46.0	48.9	100	0	88653	87639	1014
旧数学II B	100	54.5	23.1	54.9	-----	46.9	29.8	47.1	100	0	4278	55	4223
数学①②	200	83.6	82.0	110.5	-----	46.3	45.9	53.8	200	0	92805	87570	5235
国 語	200	91.8	91.0	105.2	-----	49.8	49.5	54.0	200	0	168429	158189	10240
物理基礎	50	22.2	21.8	24.2	-----	51.3	50.8	54.2	50	0	6888	5752	1136
物理	100	30.4	29.0	44.2	-----	41.2	40.4	49.1	93	0	451	410	41
化学基礎	50	22.4	22.1	28.0	-----	50.4	50.1	56.8	50	0	61066	58057	3009
化学	100	28.2	27.6	41.8	-----	42.2	41.9	50.0	85	0	675	646	29
生物基礎	50	26.4	26.3	29.5	-----	50.1	50.0	53.7	50	0	86326	82883	3443
生物	100	40.3	40.0	45.5	-----	42.9	42.8	45.9	97	0	961	909	52
地学基礎	50	24.2	24.0	26.8	-----	50.1	49.9	53.0	50	0	34517	32578	1939
地学	100	27.9	26.6	34.6	-----	43.6	43.0	47.0	66	3	106	89	17
世界史	100	43.8	43.8	47.8	-----	49.9	49.9	52.4	100	0	50256	49582	674
旧世界史B	100	64.0	38.9	64.7	-----	50.3	36.8	50.7	100	6	2994	86	2908
日本史	100	40.8	40.8	44.9	-----	49.9	49.9	52.8	100	0	85772	84825	947
旧日本史B	100	56.8	36.6	57.6	-----	50.0	38.4	50.5	100	6	3968	152	3816
地 理	100	41.7	41.5	47.1	-----	50.4	50.3	54.2	100	0	16544	16183	361
旧地理B	100	58.8	35.0	59.1	-----	51.0	35.4	51.2	100	10	1477	22	1455
旧現代社会	100	53.7	38.8	54.3	-----	50.3	40.0	50.7	93	7	546	21	525
倫 理	100	50.1	50.0	54.3	-----	49.9	49.9	52.9	94	0	16452	16204	248
旧倫理	100	60.2	34.5	61.3	-----	49.6	35.6	50.2	100	18	244	10	234
政治経済	100	45.5	45.4	48.6	-----	49.6	49.6	51.8	100	0	78506	77776	730
旧政治経済	100	52.1	34.1	53.3	-----	50.4	39.9	51.0	94	3	584	36	548
旧倫理政経	100	68.9	35.8	69.3	-----	51.2	30.5	51.4	100	6	1691	19	1672
情報I	100	52.9	52.9	55.6	-----	47.7	47.6	49.2	100	0	91779	90452	1327
旧情報	100	79.5	37.3	79.9	-----	49.3	16.1	49.7	100	7	3460	34	3426

◆教科科目別設問別成績表

〈英語(リーディング)〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		100	48.1	47.2	58.8	+11.6	18.9	100	0	325068	300034	25034
1	読解問題－案内	6	3.2	3.1	3.7	+0.6	1.9	6	0	325068	300034	25034
2	読解問題－レビュー	10	6.7	6.6	7.7	+1.1	2.6	10	0	325068	300034	25034
3	読解問題－記事	9	5.6	5.5	6.6	+1.1	3.1	9	0	325068	300034	25034
4	読解表現融合問題－レポート推敲	12	7.3	7.2	8.8	+1.6	3.7	12	0	325068	300034	25034
5	読解問題－記事	16	10.4	10.2	12.3	+2.1	4.8	16	0	325068	300034	25034
6	読解表現融合問題－レポート作成	18	6.2	6.1	7.5	+1.4	4.3	18	0	325068	300034	25034
7	読解問題－物語文	15	4.0	3.9	5.4	+1.5	3.5	15	0	325068	300034	25034
8	読解問題－論説文	14	4.8	4.6	6.7	+2.1	3.9	14	0	325068	300034	25034

〈英語(リスニング)〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		100	49.7	48.9	59.5	+10.6	17.4	100	0	319364	295297	24067
1	短文発話内容一致問題	25	13.2	13.0	15.6	+2.6	5.6	25	0	319364	295297	24067
2	対話文イラスト選択問題	16	11.2	11.1	12.7	+1.6	4.3	16	0	319364	295297	24067
3	対話文質問選択問題	18	7.3	7.2	8.6	+1.4	4.1	18	0	319364	295297	24067
4	モノログ型中文内容把握問題	12	5.8	5.7	6.7	+1.0	3.0	12	0	319364	295297	24067
5	モノログ型長文内容把握問題	15	6.1	5.9	8.1	+2.2	4.3	15	0	319364	295297	24067
6	会話長文質問選択問題	14	6.2	6.1	7.8	+1.7	3.8	14	0	319364	295297	24067

〈数 学 I〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		100	29.9	29.5	38.4	+8.9	16.1	86	0	1357	1293	64
①①	式の値、無理数の整数部分	10	3.6	3.6	3.8	+0.2	3.0	10	0	1357	1293	64
②	絶対値を含む不等式と集合	10	3.1	3.1	4.1	+1.0	2.4	10	0	1357	1293	64
全体		20	6.7	6.6	7.9	+1.3		20	0	1357	1293	64
②	余弦定理、垂直二等分線	30	10.1	9.9	13.5	+3.6	7.4	30	0	1357	1293	64
③①	原点対称、 x 軸から切り取る線分	15	4.9	4.8	6.6	+1.8	3.5	15	0	1357	1293	64
②	三つの円の面積の和の最小値	15	3.6	3.5	4.4	+0.9	3.1	15	0	1357	1293	64
全体		30	8.5	8.4	11.0	+2.6		28	0	1357	1293	64
④	散布図、変数変換、仮説検定	20	4.6	4.6	6.0	+1.4	3.4	18	0	1357	1293	64

〈数学 I A〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		100	47.7	47.5	58.0	+10.5	18.5	100	0	244043	238788	5255
①①	式の値、無理数の整数部分	10	5.9	5.9	7.2	+1.3	3.2	10	0	244043	238788	5255
②	余弦定理、垂直二等分線	20	11.8	11.7	13.4	+1.7	5.2	20	0	244043	238788	5255
全体		30	17.7	17.6	20.5	+2.9		30	0	244043	238788	5255
②①	三つの円の面積の和の最小値	15	8.5	8.5	10.6	+2.1	4.3	15	0	244043	238788	5255
②	散布図、変数変換、仮説検定	15	7.0	6.9	7.8	+0.9	3.4	15	0	244043	238788	5255
全体		30	15.5	15.4	18.5	+3.1		30	0	244043	238788	5255
③	内接円、角の二等分線	20	6.6	6.6	9.1	+2.5	5.1	20	0	244043	238788	5255
④	条件付き確率、期待値	20	8.0	7.9	10.0	+2.1	4.9	20	0	244043	238788	5255

〈旧数学 I A〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		100	63.0	34.7	63.2	+28.5	17.2	100	3	15265	103	15162
①①	式の値、無理数の整数部分	10	7.7	4.9	7.7	+2.8	2.5	10	0	15265	103	15162
②	余弦定理、垂直二等分線	20	14.5	9.7	14.6	+4.9	4.4	20	0	15265	103	15162
全体		30	22.2	14.6	22.3	+7.7		30	0	15265	103	15162
②①	三つの円の面積の和の最小値	15	11.5	7.3	11.5	+4.2	3.7	15	0	15265	103	15162
②	散布図、変数変換、相関係数	15	8.2	4.3	8.2	+3.9	3.7	15	0	15265	103	15162
全体		30	19.7	11.6	19.8	+8.2		30	0	15265	103	15162
③	トーナメント、条件付き確率	20	11.8	5.9	11.9	+6.0	5.0	20	0	13180	78	13102
④	最大公約数、最小公倍数	20	9.1	4.6	9.2	+4.6	4.7	20	0	11741	65	11676
⑤	内接円、角の二等分線	20	11.3	6.0	11.3	+5.3	4.6	20	0	5160	20	5140

〈数学 II B C〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		100	46.1	45.7	59.6	+13.9	18.5	100	0	229566	224100	5466
①	グラフ、三角方程式	15	7.0	6.9	9.2	+2.3	3.9	15	0	229566	224100	5466
②	常用対数表、近似値	15	7.3	7.2	9.2	+2.0	3.4	15	0	229566	224100	5466
③	接線、面積、極値	22	13.1	13.0	16.1	+3.1	5.9	22	0	229566	224100	5466
④	漸化式、群数列	16	8.5	8.4	10.7	+2.3	3.8	16	0	213618	208365	5253
⑤	確率分布、二項分布、仮説検定	16	5.0	5.0	5.1	+0.1	3.2	16	0	133753	132188	1565
⑥	交点の位置ベクトル、領域、内積	16	6.6	6.5	8.7	+2.2	3.9	16	0	208131	203091	5040
⑦	回転・拡大、双曲線、接線	16	4.7	4.6	7.8	+3.2	4.1	16	0	96853	93155	3698

〈旧数学 II B〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		100	60.3	26.5	60.5	+34.0	18.4	100	0	14649	124	14525
①①	グラフ、三角方程式	15	9.6	4.8	9.7	+4.9	3.6	15	0	14649	124	14525
②	常用対数表、近似値	15	9.2	4.1	9.3	+5.2	3.5	15	0	14649	124	14525
全体		30	18.8	8.9	18.9	+10.0		30	0	14649	124	14525
②	接線、面積、極値、解の個数・範囲	30	19.3	8.0	19.4	+11.4	7.0	30	0	14649	124	14525
③	確率分布、二項分布、正規分布	20	5.5	3.2	5.7	+2.5	5.9	20	0	818	67	751
④	漸化式、群数列	20	12.6	6.4	12.7	+6.3	4.6	20	0	14173	99	14074
⑤	交点の位置ベクトル、領域、内積	20	10.2	5.9	10.2	+4.3	4.6	20	0	13848	60	13788

〈国 語〉

設問 トータル	設問 内 容	配点	平均点			標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒				卒一現	全 体	現 役	高 卒
		200	92.6	91.3	107.9	+16.6	31.2	200	0	312316	288795	23521
1	現代文「論理的文章」	45	23.6	23.3	27.8	+4.5	9.9	45	0	312316	288795	23521
2	現代文「文学的文章」	45	23.2	22.9	26.2	+3.3	10.9	45	0	312316	288795	23521
3	現代文「図表と資料」	20	8.1	8.1	8.8	+0.7	5.1	20	0	312316	288795	23521
4	古文「擬古物語」「作り物語」	45	20.4	20.2	23.5	+3.3	10.7	45	0	312316	288795	23521
5	漢文「詩」「隨筆」「史伝」	45	17.3	16.9	21.6	+4.7	10.3	45	0	312316	288795	23521

〈物理基礎〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		50	21.3	20.9	23.9	+3.0	7.0	50	0	9729	8500	1229
1	各分野の基本事項	16	6.2	6.0	7.0	+1.0	3.6	16	0	9729	8500	1229
2	等加速度運動する物体の考察	18	9.2	9.0	10.3	+1.3	3.3	18	0	9729	8500	1229
3	波の伝わり方、反射と定在波	16	5.9	5.8	6.7	+0.9	3.6	16	0	9729	8500	1229

〈物理〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		100	45.7	44.3	57.4	+13.1	17.3	100	0	102171	91530	10641
1	各分野の基本事項	26	13.2	12.9	15.8	+2.9	5.8	26	0	102171	91530	10641
2	円運動	27	13.3	13.0	15.5	+2.5	5.0	27	0	102171	91530	10641
3	浮力	27	12.8	12.4	16.2	+3.8	7.6	27	0	102171	91530	10641
4	コンデンサー回路	20	6.4	6.0	9.9	+3.9	5.2	20	0	102171	91530	10641

〈化学基礎〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		50	22.0	21.7	27.6	+5.9	8.8	50	0	69342	66111	3231
1	物質の構成、物質の変化	30	13.9	13.7	17.4	+3.7	5.9	30	0	69342	66111	3231
2	中和滴定、溶液の濃度、組成式	20	8.2	8.0	10.2	+2.2	4.5	20	0	69342	66111	3231

〈化学〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		100	41.9	40.3	56.2	+15.9	17.7	100	0	137479	123714	13765
1	物質の構成、結晶	20	10.7	10.3	14.1	+3.8	5.4	20	0	137479	123714	13765
2	気体、物質の溶解、希薄溶液の性質	20	7.0	6.7	10.2	+3.5	4.6	20	0	137479	123714	13765
3	電池・電気分解、反応速度と平衡	20	7.6	7.4	10.3	+2.9	4.7	20	0	137479	123714	13765
4	無機物質	20	8.9	8.6	11.4	+2.8	4.8	20	0	137479	123714	13765
5	新) フッ化物やCa塩の総合問題	20	7.7	7.6	10.1	+2.5	5.2	20	0	127478	119328	8150
6	旧) フッ化物やCa塩の総合問題	20	10.8	6.5	10.9	+4.4	5.5	20	0	5566	165	5401

〈生物基礎〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		50	26.3	26.1	29.3	+3.2	8.6	50	0	92924	89325	3599
1	生物の系統・細胞周期	18	8.2	8.1	9.8	+1.7	4.1	18	0	92924	89325	3599
2	ヒトの神経系・血糖濃度調節	16	8.5	8.5	9.2	+0.7	3.9	16	0	92924	89325	3599
3	外来生物・自然浄化	16	9.5	9.5	10.3	+0.8	4.1	16	0	92924	89325	3599

〈生物〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		100	52.6	51.4	65.4	+14.0	17.4	100	0	43830	39995	3835
1	進化の仕組み・性選択	18	12.9	12.7	14.4	+1.7	4.3	18	0	43830	39995	3835
2	動物の発生	21	8.6	8.4	11.5	+3.1	5.0	21	0	43830	39995	3835
3	遺伝情報の発現	11	7.2	7.0	8.6	+1.6	3.6	11	0	43830	39995	3835
4	光合成	20	10.9	10.7	13.5	+2.8	4.5	20	0	43830	39995	3835
5	遺伝子組換え	19	7.6	7.4	10.2	+2.8	5.1	19	0	43830	39995	3835
6	遺伝子の発現調節	11	5.4	5.2	7.1	+1.9	3.3	11	0	43830	39995	3835

〈地学基礎〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		50	24.1	23.9	26.7	+2.8	9.0	50	0	35109	33125	1984
1	地球の内部・火成岩・柱状図	23	9.6	9.5	11.1	+1.6	4.9	23	0	35109	33125	1984
2	気圧・大気圏の構造・深層循環	10	5.5	5.4	6.3	+0.9	3.1	10	0	35109	33125	1984
3	エネルギー源・太陽放射・黒点	10	5.7	5.7	5.6	-0.1	3.2	10	0	35109	33125	1984
4	高気圧と低気圧・前線	7	3.2	3.2	3.5	+0.3	2.6	7	0	35109	33125	1984

〈地学〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒一現	全体	現役	高卒
トータル		100	40.3	38.4	46.6	+8.2	19.4	97	3	509	395	114
1	ジオイド、プレート運動	21	8.9	8.5	10.2	+1.7	5.5	21	0	509	395	114
2	マグマの発生、鉱物・岩石	17	7.6	7.3	8.7	+1.4	4.4	17	0	509	395	114
3	地質断面図、地球の歴史	20	10.3	9.8	12.0	+2.2	5.2	20	0	509	395	114
4	大気の運動、海流	21	7.1	6.7	8.5	+1.8	5.4	21	0	509	395	114
5	惑星の運動、恒星	21	6.3	6.0	7.3	+1.3	5.1	21	0	509	395	114

〈世界史〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	43.9	43.8	48.2	+4.4	15.9	100	0	53663	52868	795
1	工業の発展とその影響	25	10.8	10.8	11.8	+1.0	4.9	25	0	53663	52868	795
2	ヨーロッパ人の海上交易や海洋進出	15	7.9	7.9	8.4	+0.5	3.6	15	0	53663	52868	795
3	情報の記録と伝達の歴史	19	7.8	7.8	8.7	+0.9	4.5	19	0	53663	52868	795
4	砂糖についての資料を使用した対話	19	7.5	7.5	8.3	+0.8	4.4	19	0	53663	52868	795
5	特定の主題に関する考察	22	9.9	9.9	10.9	+1.0	5.0	22	0	53663	52868	795

〈旧世界史B〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	63.4	38.3	64.1	+25.8	18.6	100	6	3493	93	3400
1	情報の記録と伝達の歴史	24	14.7	9.2	14.9	+5.7	5.7	24	0	3493	93	3400
2	ヨーロッパ人の海上交易や海洋進出	18	12.3	7.4	12.5	+5.1	4.0	18	0	3493	93	3400
3	砂糖についての資料を使用した対話	19	10.2	6.0	10.3	+4.3	5.0	19	0	3493	93	3400
4	資料を基にした考察	21	14.3	8.4	14.4	+6.0	5.1	21	0	3493	93	3400
5	19世紀の世界	18	12.0	7.3	12.1	+4.8	4.3	18	0	3493	93	3400

〈日本史〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	40.9	40.9	45.7	+4.8	14.5	100	0	93871	92746	1125
1	食品と歴史	25	10.2	10.2	11.5	+1.3	5.2	25	0	93871	92746	1125
2	古代～近世の法と裁判・訴訟	17	7.5	7.5	8.1	+0.6	3.7	17	0	93871	92746	1125
3	古代の地域社会と仏教	20	8.0	8.0	9.2	+1.2	4.4	20	0	93871	92746	1125
4	中世の対外関係	21	8.4	8.4	9.5	+1.1	4.5	21	0	93871	92746	1125
5	旗本・御家人の動向	17	6.7	6.7	7.4	+0.7	4.0	17	0	93871	92746	1125

〈旧日本史B〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	56.8	36.8	57.4	+20.6	17.4	100	6	5427	164	5263
1	古代～近世の法と裁判・訴訟	19	10.5	6.9	10.6	+3.7	4.3	19	0	5427	164	5263
2	古代の地域社会と仏教	22	13.4	8.5	13.6	+5.1	5.4	22	0	5427	164	5263
3	中世の対外関係	22	13.0	7.7	13.2	+5.5	5.0	22	0	5427	164	5263
4	旗本・御家人の動向	18	9.8	6.5	9.9	+3.4	4.6	18	0	5427	164	5263
5	江戸時代の文芸	19	10.0	7.3	10.1	+2.8	4.2	19	0	5427	164	5263

〈地理〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	41.1	41.0	47.4	+6.4	14.4	100	0	100439	98483	1956
1	地図と地理情報、世界の結びつき	13	6.4	6.4	7.2	+0.8	3.5	13	0	100439	98483	1956
2	気候と気象災害	12	4.4	4.3	5.2	+0.9	3.1	12	0	100439	98483	1956
3	自然環境と災害	17	5.7	5.6	7.1	+1.5	3.9	17	0	100439	98483	1956
4	鉱産資源・エネルギー	17	7.5	7.5	8.6	+1.1	4.1	17	0	100439	98483	1956
5	東・東南アジア地誌	17	6.3	6.3	7.3	+1.0	3.9	17	0	100439	98483	1956
6	日本の農山村の諸課題	24	10.9	10.8	12.0	+1.2	5.3	24	0	100439	98483	1956

〈旧地理B〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	57.3	35.2	57.4	+22.2	15.2	100	6	7300	50	7250
1	自然環境と災害	20	10.3	6.4	10.3	+3.9	4.7	20	0	7300	50	7250
2	鉱産資源・エネルギー	20	10.8	5.2	10.9	+5.7	4.7	20	0	7300	50	7250
3	人口	20	13.8	8.2	13.8	+5.6	4.3	20	0	7300	50	7250
4	東・東南アジア地誌	20	9.1	7.3	9.1	+1.8	4.5	20	0	7300	50	7250
5	福島県二本松市の地域調査	20	13.3	8.2	13.3	+5.1	4.7	20	0	7300	50	7250

〈倫理〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	50.2	50.0	57.9	+7.9	14.2	96	0	23153	22443	710
1	現代社会と青年	12	8.9	8.9	9.6	+0.7	2.7	12	0	23153	22443	710
2	市民の政治参加	13	7.4	7.4	8.4	+1.0	2.9	13	0	23153	22443	710
3	国際経済の仕組みと動向	12	4.6	4.6	5.6	+1.0	3.1	12	0	23153	22443	710
4	課題探究学習	13	5.9	5.9	6.4	+0.5	3.3	13	0	23153	22443	710
5	東洋の源流思想	25	13.0	12.9	15.5	+2.6	5.6	25	0	23153	22443	710
6	西洋近代思想	25	10.4	10.3	12.4	+2.1	5.1	25	0	23153	22443	710

〈政治・経済〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	46.0	45.9	51.4	+5.5	14.5	100	0	102337	100982	1355
1	現代社会と青年	12	8.4	8.4	9.1	+0.7	2.8	12	0	102337	100982	1355
2	市民の政治参加	13	7.4	7.4	8.1	+0.7	3.2	13	0	102337	100982	1355
3	国際経済の仕組みと動向	12	4.6	4.6	5.4	+0.8	3.1	12	0	102337	100982	1355
4	課題探究学習	13	5.7	5.7	6.4	+0.7	3.3	13	0	102337	100982	1355
5	国際社会の平和と安定	25	9.5	9.4	10.8	+1.4	4.9	25	0	102337	100982	1355
6	日本の統治機構	25	10.4	10.4	11.7	+1.3	5.5	25	0	102337	100982	1355

〈旧現代社会〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	53.3	35.8	53.9	+18.1	14.5	93	7	1082	31	1051
1	基本的人権の保障	22	10.3	5.9	10.4	+4.5	4.7	22	0	1082	31	1051
2	現代社会と青年	19	13.0	8.7	13.1	+4.4	3.9	19	0	1082	31	1051
3	市場のメカニズム	21	12.0	7.8	12.1	+4.3	4.1	21	0	1082	31	1051
4	国際社会と人類の課題	22	10.5	8.0	10.6	+2.6	4.7	22	0	1082	31	1051
5	課題探究学習	16	7.5	5.4	7.6	+2.2	4.2	16	0	1082	31	1051

〈旧倫理〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	60.9	35.3	61.9	+26.6	18.3	100	12	420	15	405
1	東洋の源流思想	24	14.9	10.8	15.1	+4.3	5.1	24	0	420	15	405
2	江戸時代の思想	24	14.3	7.8	14.5	+6.7	5.9	24	3	420	15	405
3	西洋近代思想	24	13.8	8.4	14.0	+5.6	5.4	24	0	420	15	405
4	現代の諸課題と倫理	28	17.9	8.3	18.3	+10.0	6.2	28	0	420	15	405

〈旧政治・経済〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	51.5	31.7	52.8	+21.1	17.3	94	3	732	44	688
1	国際社会の平和と安定	26	12.3	7.0	12.6	+5.6	5.2	26	0	732	44	688
2	日本の統治機構	25	14.2	9.3	14.5	+5.2	5.4	25	0	732	44	688
3	日本経済の発展と課題	25	12.9	7.6	13.3	+5.7	5.8	25	0	732	44	688
4	国民福祉の現状と課題	24	12.1	7.8	12.4	+4.6	6.2	24	0	732	44	688

〈旧倫理, 旧政治・経済〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	67.0	36.4	67.2	+30.8	16.0	100	6	2975	25	2950
1	東洋の源流思想の特質	12	8.9	5.3	8.9	+3.6	2.8	12	0	2975	25	2950
2	江戸時代の思想の特質	12	8.4	4.2	8.5	+4.3	2.9	12	0	2975	25	2950
3	市民社会の倫理思想	12	8.1	5.9	8.1	+2.2	3.0	12	0	2975	25	2950
4	現代社会における諸課題と青年期	14	9.1	5.8	9.1	+3.3	3.6	14	0	2975	25	2950
5	国際社会の平和と安定	13	8.3	5.0	8.3	+3.3	3.0	13	0	2975	25	2950
6	日本の統治機構の特徴	15	11.1	5.3	11.2	+5.9	3.4	15	0	2975	25	2950
7	日本経済の発展と課題	22	13.0	5.0	13.1	+8.1	5.6	22	0	2975	25	2950

〈情報 I〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	56.9	56.7	61.9	+5.2	17.0	100	0	216626	211379	5247
1	産業財産権, 論理回路, 基数変換等	20	12.0	11.9	12.8	+0.9	4.3	20	0	216626	211379	5247
2	デジタル化, プレゼンテーション	30	17.5	17.5	19.0	+1.5	5.9	30	0	216626	211379	5247
3	移動の最短時間を求めるプログラム	25	13.3	13.3	14.8	+1.5	6.9	25	0	216626	211379	5247
4	ネットワーク, データ分析	25	14.0	14.0	15.3	+1.3	5.0	25	0	216626	211379	5247

〈旧情報〉

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒	卒一現				全体	現役	高卒
トータル		100	80.3	43.1	80.5	+37.4	12.7	100	2	12133	59	12074
1	著作権, 基数変換, デジタル化等	35	25.8	13.3	25.9	+12.6	5.6	35	0	12133	59	12074
2	半加算回路, 回路の置き換え	15	12.1	8.4	12.1	+3.7	3.8	15	0	2056	25	2031
3	プレゼンテーションの実践	15	11.6	8.9	11.6	+2.7	3.3	15	0	10069	31	10038
4	音のイメージに関する考察と応用	25	21.3	12.8	21.3	+8.5	3.9	25	0	12133	59	12074
5	移動の最短時間を求めるプログラム	25	18.1	11.0	18.1	+7.1	7.5	25	0	1000	5	995
6	種々の情報システム, ネット検索	25	22.1	18.5	22.1	+3.6	3.8	25	0	11058	25	11033

◆設問別正答率表

〈英語(リーディング)〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	45.7
	2	67.9
	3	44.2
	トータル	52.6
2	4	62.6
	5	93.3
	6	61.4
	7	48.0
	8	69.3
トータル	66.9	
3	9-12	63.1
	13	63.6
	14	59.7
	トータル	62.1
4	15	72.6
	16	62.2
	17	66.6
	18	42.9
	トータル	61.1
5	19	66.9
	20	74.2
	21	47.9
	22	71.1
	23	70.7
	24	61.6
トータル	65.4	
6	25	21.1
	26	24.3
	27-28	38.7
	29	35.8
	30	39.6
	31	46.4
	トータル	34.3
7	32-35	7.1
	36	50.0
	37-38	27.5
	39	25.6
	40	23.6
トータル	26.8	
8	41	60.3
	42	35.5
	43-44	23.0
	45	25.0
	46	35.7
トータル	35.9	

〈英語(リスニング)〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	65.6
	2	28.7
	3	60.8
	4	35.6
	5	32.2
	6	96.7
	7	55.5
トータル	53.6	
2	8	74.0
	9	88.2
	10	71.4
	11	47.0
	トータル	70.2
3	12	50.0
	13	27.3
	14	45.6
	15	56.3
	16	37.7
	17	25.1
	トータル	40.3
4	18-21	23.6
	22	93.1
	23	72.8
	24	69.3
	25	70.3
	26	45.3
	トータル	62.4
5	27	34.7
	28-29	46.2
	30-31	8.8
	32	55.5
	33	42.7
	トータル	37.6
6	34	45.5
	35	36.8
	36	26.0
	37	67.2
	トータル	43.9

〈数学 I〉

問題番号	解答番号	正答率	
①	ア	43.6	
	イ-ウ	41.4	
	エ	36.1	
	オ	30.0	
	カ	28.7	
	トータル	36.0	
	②	キ	38.4
		ク	61.2
		ケ-サ	31.2
		シ-ス	16.1
セ-ソ		8.3	
トータル		31.1	
総トータル	33.5		
②	ア-イ	52.5	
	ウ-オ	40.3	
	カ-ケ	29.6	
	コ-ス	28.7	
	セ	41.3	
	ソ	34.7	
	タ	29.7	
	チ	17.5	
トータル	34.3		
③	ア	75.8	
	イ	61.5	
	ウ	69.6	
	エ-ク	20.6	
	ケ	46.8	
	コ-シ	16.7	
	ス-セ	3.0	
	トータル	42.0	
	③	ソ-タ	22.9
		チ	29.4
ツ		36.5	
テ		41.8	
ト-ナ		11.5	
ニ-ノ		4.2	
④	ハ	19.9	
	ヒ	24.2	
	トータル	23.8	
	総トータル	33.0	
	ア	44.8	
	イ	54.7	
ウ	58.1		
エ	31.2		
オ	5.2		
カ	3.5		
キ-ク	6.6		
ケ	23.1		
コ-サ	25.4		
シ	15.8		
トータル	26.8		

〈数学 I A〉

問題番号	解答番号	正答率
①	ア	75.7
	イ-ウ	75.0
	エ	51.9
	オ	50.4
	カ	43.0
	トータル	59.2
①	キ-ク	82.6
	ケ-サ	76.2
	シ-ソ	51.9
	タ	67.5
	チ	45.8
	ツ	34.0
	トータル	59.7
総トータル	59.4	
①	ア-イ	75.8
	ウ	70.6
	エ	67.9
	オ	82.9
	カ-キ	45.4
	ク-サ	40.3
	シ	36.5
	ス	44.6
	トータル	58.0
	②	セ
ソ	81.5	
タ	70.2	
チ	52.9	
ツ-テ	28.7	
ト	24.2	
ナ-ニ	54.8	
エ	28.9	
トータル	51.2	
総トータル	54.6	
③	ア	61.1
	イ-ウ	45.0
	エ-オ	44.4
	カ-キ	54.7
	ク	43.0
	ケ-サ	13.4
	シ-ス	12.3
	セ	18.8
	ソ	23.3
	トータル	35.1
④	ア-エ	86.6
	オ-キ	82.1
	ク-コ	55.3
	サ-ス	34.1
	セ-タ	33.1
	チ-テ	50.8
	ト-ナ	6.0
	ニ-ノ	1.4
	トータル	43.7

〈旧数学ⅠA〉

問題番号	解答番号	正答率
1	〔1〕	ア 93.5
		イウ 93.0
		エ 73.8
		オ 69.7
		カ 55.3
	トータル 77.1	
	〔2〕	キーク 95.2
		ケーサ 92.8
		シーソ 72.3
		タ 81.2
チ 59.4		
ツ 42.4		
トータル 73.9		
総トータル 75.3		
2	〔1〕	アイ 93.8
		ウ 85.8
		エ 84.1
		オ 93.8
		カキ 69.8
	クサ 75.1	
	シ 57.7	
	ス 62.3	
	トータル 77.8	
	〔2〕	セソ 73.8
タ 89.7		
チ 75.4		
テ 69.1		
ト 46.8		
ナ 30.0		
ニ 52.3		
ニ 30.4		
トータル 58.4		
総トータル 68.1		
3	アエ 96.2	
	オキ 94.8	
	クコ 76.5	
	サス 64.2	
	セタ 64.7	
	チテ 74.4	
	トナ 19.8	
ニネ 13.7		
トータル 63.0		
4	アエ 95.8	
	オ 86.7	
	カ 48.3	
	キ 30.8	
	クケ 64.5	
	クス 32.5	
	セソ 11.7	
テ 55.3		
トナ 17.1		
トータル 49.2		
5	ア 89.5	
	イウ 80.7	
	エオ 80.2	

問題番号	解答番号	正答率
5	カキ 87.1	
	ク 76.8	
	ケーサ 41.9	
	シーセ 32.6	
	ソ 22.9	
トータル 23.3		
トータル 59.4		

〈数学ⅡBC〉

問題番号	解答番号	正答率
1	ア 71.2	
	イ 57.6	
	ウ 36.9	
	エ 34.7	
	オカ 84.8	
	キーケ 68.4	
	クス 72.9	
	シーソ 64.2	
	ス 52.0	
	タ 57.9	
	チ 18.6	
	ツ 11.4	
	トータル 52.5	
	2	ア 95.4
		イ 93.7
ウ 85.4		
エ 34.6		
オ 22.6		
カ 22.9		
キケ 80.4		
ク 61.8		
コ 50.6		
シ 4.2		
トータル 55.2		
3		アイ 89.8
		ウエ 74.3
		オク 58.6
		ケーシ 28.4
	スセ 86.6	
	ソ 78.1	
	タ 80.1	
	チ 56.1	
	ツ 53.9	
	テナ 22.1	
	ニ 27.7	
	トータル 59.6	
	4	ア 88.2
		イウ 85.6
		エ 76.3
オ 61.2		
カ 77.9		
キ 54.9		
クケ 49.0		
コ 62.5		
サシ 56.3		
スセ 51.2		
ソ 20.0		
テ 17.3		
トニ 4.4		
トータル 54.2		
5		アイ 73.5
	ウエ 49.4	
	オキ 28.9	
	ク 76.6	
	ケ 34.6	

問題番号	解答番号	正答率
5	コシ 9.7	
	ス 18.3	
	セ 35.1	
	ソ 16.9	
	タ 25.7	
	チツ 3.7	
	テ 25.8	
	トータル 33.2	
	6	ア 86.8
		イ 84.1
ウ 83.8		
エオ 39.8		
カーケ 29.8		
クス 15.9		
シス 43.9		
セ 26.8		
ソテ 3.4		
トータル 46.0		
7	アイ 90.8	
	ウ 55.9	
	エキ 39.5	
	クコ 33.9	
	サ 25.4	
	シス 15.2	
	セソ 28.2	
	タ 23.6	
	チ 35.6	
	ツテ 8.2	
トノ 4.4		
トータル 32.8		

〈旧数学ⅡB〉

問題番号	解答番号	正答率
1	ア 90.0	
	イ 81.8	
	ウ 55.0	
	エ 55.4	
	オカ 95.1	
	キーケ 89.2	
	クス 89.5	
	シーソ 85.9	
	タ 73.4	
	チ 79.0	
	ツ 31.7	
	ツ 24.2	
	トータル 70.8	
	2	テ 96.2
		ト 95.8
ナ 93.2		
ニ 58.9		
ヌ 44.9		
ネ 42.3		
ノハ 86.7		
ヒ 75.3		
フ 65.9		
ヘホ 9.7		
トータル 66.9		
総トータル 69.0		
3		アイ 96.1
		ウエ 91.2
		オク 83.3
	ケーシ 52.4	
	スセ 94.7	
	ソ 92.1	
	タ 92.3	
	チ 78.1	
	ツ 73.6	
	テナ 46.4	
	ニ 48.9	
	ヌ 38.6	
	ネハ 28.4	
	ヒ 27.0	
	フヘ 18.5	
トータル 64.1		
4	アイ 72.9	
	ウオ 51.2	
	カーケ 23.7	
	コシ 25.4	
	スチ 12.3	
	ツ 40.3	
	テ 41.9	
	トニ 19.9	
	ヌネ 20.4	
	ノ 18.5	
	ハヒ 10.8	
	トータル 30.7	
	4	ア 94.5
		イウ 93.8

問題番号	解答番号	正答率
4	エ 94.2	
	オ 86.8	
	カ 94.1	
	キ 80.3	
	クケ 80.8	
	クス 70.4	
	スセ 75.1	
	ソ 71.9	
	チ 51.1	
	ツテ 43.5	
ト 38.7		
ナ 33.2		
ハ 8.5		
トータル 67.8		
5	ア 93.1	
	イ 93.4	
	ウ 93.5	
	エオ 71.0	
	カーケ 60.7	
	クス 40.9	
	シーサ 70.8	
	セ 42.2	
	ソテ 15.6	
	ト 32.4	
ネ 3.5		
トータル 56.1		

〈国語〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	68.7
	2	85.7
	3	32.9
	4	46.1
	5	36.3
	6	59.4
	7	34.9
	8	43.2
	9	38.3
	10	79.0
	11	65.0
トータル	53.6	
2	12	49.9
	13	51.8
	14	67.2
	15	45.0
	16	43.9
	17	44.3
	18	49.8
	トータル	50.3
3	19	51.0
	20	47.6
	21	18.8
	22	45.1
トータル	40.6	
4	23	60.2
	24	60.5
	25	54.8
	26	15.9
	27	36.0
	28	54.7
	29	50.6
	30	44.2
トータル	47.1	
5	31	12.9
	32	44.2
	33	23.4
	34	56.0
	35	38.2
	36	51.8
	37	36.3
	38	40.1
トータル	37.9	

〈物理基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	36.3
	2	66.1
	3	36.7
	4	23.2
	5	21.8
	トータル	36.8
2	6	66.9
	7	33.3
	8	85.4
	9	65.0
	10	21.0
	11	70.7
	12	36.9
	13	30.8
	トータル	51.2
	3	14
15		29.8
16		39.2
17		28.8
18		20.5
トータル		37.6

〈物理〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	26.1
	2	61.7
	3	54.2
	4	50.8
	5	60.0
	6	66.7
	7	41.3
トータル	51.5	
2	8	88.6
	9	85.5
	10	81.2
	11	75.2
	12	24.0
	13	25.6
	14	28.7
	15	12.8
トータル	52.7	
3	16	49.7
	17	52.6
	18	60.2
	19	56.0
	20	65.7
	21	22.7
	22	26.0
トータル	47.6	
4	23	46.9
	24	35.7
	25	21.4
	26	22.2
	27	33.1
トータル	31.9	

〈化学基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	75.9
	2	50.1
	3	57.6
	4	35.9
	5	24.5
	6	64.9
	7	57.3
	8	46.7
	9	26.1
	10	23.4
トータル	46.2	
2	11	38.4
	12	38.2
	13	48.9
	14	81.1
	15	32.8
	16	42.7
	17	16.0
トータル	42.6	

〈化学〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	54.4
	2	57.4
	3	36.7
	4	34.5
	5	70.8
	6	63.3
トータル	52.8	
2	7	44.1
	8	21.6
	9	56.8
	10	44.6
	11	23.1
	12	29.0
	トータル	36.5
3	13	72.3
	14	39.3
	15	26.8
	16	41.0
	17	35.4
	18	18.1
トータル	38.8	
4	19	46.2
	20	30.8
	21	49.6
	22	44.4
	23	64.2
	24	32.8
トータル	44.7	
5	25	28.8
	26	36.5
	27	60.7
	28	21.3
	29	46.0
トータル	38.6	
6	30	37.1
	31	51.2
	32	77.2
	33	37.7
	34	67.0
トータル	54.0	

〈生物基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	77.9
	2	26.2
	3	47.1
	4	53.6
	5	32.7
	6	36.3
トータル	45.6	
2	7	54.2
	8	42.5
	9	69.3
	10	54.6
	11	47.5
トータル	53.6	
3	12	64.4
	13	81.5
	14	51.3
	15	52.4
	16	41.2
トータル	58.2	

〈生 物〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	80.7
	2	49.5
	3	72.6
	4	77.4
	5	74.4
	トータル	70.9
2	6	50.1
	7	24.3
	8	55.4
	9	45.7
	10	35.3
	トータル	37.6
3	11	41.4
	12	65.1
	13	64.8
	トータル	61.5
4	14	63.8
	15	39.5
	16	93.3
	17	52.4
	18	50.5
	トータル	37.4
5	19	37.4
	20	50.1
	21	40.9
	22	49.3
	23	29.1
	トータル	35.7
6	24	43.0
	25	39.6
	26	55.9
	トータル	70.7
	トータル	22.6
	トータル	49.7

〈地学基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	39.5
	2	23.1
	3	35.9
	4	44.0
	5	72.4
	6	23.4
	7	51.4
	トータル	41.4
2	8	56.6
	9	69.4
	10	42.7
	トータル	56.2
3	11	54.6
	12	53.9
	13	62.1
	トータル	56.9
4	14	54.1
	15	40.4
	トータル	47.3

〈地 学〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	40.7
	2	59.9
	3	38.3
	4	38.7
	5	38.1
	6	39.9
	トータル	42.6
2	7	47.0
	8	37.5
	9	48.3
	10	31.8
	11	58.3
	トータル	44.6
3	12	48.1
	13	33.6
	14	66.8
	15	58.9
	16	40.9
	トータル	53.4
4	17	50.3
	18	37.9
	19	42.8
	20	37.1
	21	35.0
	22	25.7
	トータル	27.1
5	23	34.3
	24	22.8
	25	48.9
	26	25.5
	27	30.6
	トータル	38.3
	トータル	21.4
	トータル	31.3

〈世界史〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	52.3
	2	7.5
	3	56.2
	4	48.8
	5	45.1
	6	39.9
	7	76.8
	8	59.0
	9	15.3
	トータル	44.5
2	10	17.4
	11	58.1
	12	49.8
	13	54.7
	トータル	83.4
3	14	52.7
	15	53.1
	16	31.2
	17	21.4
	18	54.4
	トータル	42.9
4	19	41.6
	20	40.8
	21	30.7
	22	27.4
	23	23.3
	トータル	69.8
5	24	40.5
	25	44.3
	26	39.3
	27	45.6
	28	40.2
	29	38.9
	30	58.0
	トータル	61.9
	トータル	53.0
	トータル	23.9
	トータル	45.9

〈旧世界史B〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	66.7
	2	76.3
	3	48.6
	4	46.1
	5	78.8
	6	60.9
	7	52.1
	8	61.6
	トータル	61.4
2	9	73.7
	10	34.7
	11	64.9
	12	75.4
	13	70.4
	14	91.5
	トータル	68.4
3	15	43.1
	16	47.4
	17	39.4
	18	77.8
	19	48.3
	20	61.8
	トータル	53.0
4	21	69.5
	22	53.9
	23	61.3
	24	77.0
	25	74.1
	26	77.4
	27	61.8
	トータル	67.9
5	28	83.4
	29	35.4
	30	57.3
	31	76.3
	32	63.4
	33	83.2
		トータル

〈日本史〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	25.4
	2	44.5
	3	67.2
	4	23.7
	5	42.9
	6	41.8
	7	38.5
	トータル	40.6
2	8	51.9
	9	64.9
	10	13.2
	11	23.9
	12	53.1
	トータル	50.3
3	13	42.9
	14	43.4
	15	31.7
	16	54.2
	17	20.7
	18	39.9
	トータル	44.5
4	19	50.9
	20	50.9
	21	25.5
	22	50.7
	23	28.5
	24	53.7
	25	45.5
	トータル	17.8
5	26	60.1
	27	40.2
	28	30.4
	29	57.3
	30	38.7
	31	32.9
	トータル	30.8
	トータル	45.6
	トータル	39.3

〈旧日本史B〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	66.7
	2	82.7
	3	19.3
	4	41.3
	5	64.7
	6	68.2
	トータル	57.2
2	7	57.7
	8	56.2
	9	70.9
	10	51.6
	11	55.7
	12	68.7
13	62.5	
	トータル	60.5
3	14	37.4
	15	74.8
	16	48.5
	17	76.8
	18	62.0
	19	27.2
20	80.5	
	トータル	58.2
4	21	52.5
	22	72.3
	23	54.3
	24	48.0
	25	39.4
	26	60.1
	トータル	54.4
5	27	59.0
	28	79.1
	29	59.6
	30	53.9
	31	23.8
	32	44.6
	トータル	53.3

〈地理〉

問題番号	解答番号	正答率	
1	1	45.0	
	2	56.5	
	3	43.1	
	4	53.4	
		トータル	49.5
	5	39.3	
2	6	23.2	
	7	52.9	
	8	29.9	
	トータル	36.3	
3	9	56.5	
	10	36.3	
	11	17.2	
	12	27.3	
	13	36.9	
		トータル	34.8
4	14	59.6	
	15	62.0	
	16	40.2	
	17	25.4	
	18	35.2	
		トータル	44.5
5	19	47.5	
	20	23.0	
	21	24.6	
	22	37.7	
	23	52.6	
		トータル	37.1
6	24	48.6	
	25	31.3	
	26	39.0	
	27	67.4	
	28	41.6	
	29	33.8	
30	58.8		
	トータル	45.8	

〈旧地理B〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	70.8
	2	53.9
	3	39.4
	4	33.7
	5	45.2
	6	76.6
	トータル	53.3
2	7	67.3
	8	82.1
	9	47.1
	10	32.6
	11	45.3
	12	53.2
	トータル	54.6
3	13	78.4
	14	63.8
	15	60.3
	16	80.2
	17	87.6
	18	46.8
	トータル	69.5
4	19	68.2
	20	29.7
	21	35.0
	22	37.1
	23	55.6
	24	49.5
	トータル	45.8
5	25	70.6
	26	53.6
	27	90.6
	28	60.4
	29	58.9
	30	70.6
	トータル	67.5

〈旧現代社会〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	24.9
	2	54.8
	3	83.0
	4	29.1
	5	57.0
	6	71.4
	7	17.1
	トータル	48.2
2	8	70.4
	9	53.3
	10	92.9
	11	93.6
	12	60.8
	13	39.0
	トータル	68.3
3	14	59.4
	15	50.7
	16	93.3
	17	75.2
	18	13.2
	19	62.8
20	44.4	
	トータル	57.0
4	21	41.4
	22	74.1
	23	70.1
	24	33.3
	25	39.8
	26	50.4
	27	25.0
	トータル	47.7
5	28	61.2
	29	22.1
	30	45.7
	31	59.7
	トータル	47.2

〈倫理〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	68.8
	2	48.1
	3	90.5
	4	90.3
	トータル	74.4
2	5	66.6
	6	74.6
	7	84.9
	8	15.2
	トータル	60.3
3	9	48.4
	10	36.2
	11	43.7
	12	26.3
	トータル	38.7
4	13	61.9
	14	20.4
	15	44.4
	16	54.9
	トータル	45.4
5	17	55.3
	18	55.8
	19	25.4
	20	46.4
	21	27.5
	22	72.3
	23	65.0
24	76.2	
	トータル	53.0
6	25	42.9
	26	18.1
	27	62.8
	28	37.5
	29	32.4
	30	23.2
	31	35.9
32	72.4	
	トータル	40.7

〈旧倫理〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	58.1
	2	67.9
	3	35.0
	4	58.3
	5	34.0
	6	81.7
	7	75.7
	8	86.0
	トータル	62.1
2	9	63.6
	10	61.4
	11	28.3
	12	65.7
	13	47.6
	14	58.3
	15	56.2
16	93.8	
	トータル	59.4
3	17	51.4
	18	22.9
	19	78.8
	20	54.3
	21	49.8
	22	62.6
	23	56.4
24	85.2	
	トータル	57.7
4	25	87.1
	26	41.0
	27	74.8
	28	67.9
	29	77.9
	30	77.6
	31	74.3
32	33.1	
33	39.8	
	トータル	63.7

〈政治・経済〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	57.6
	2	49.6
	3	88.9
	4	85.4
	トータル	70.4
2	5	61.3
	6	75.5
	7	84.1
	8	19.7
	トータル	60.1
3	9	48.7
	10	35.4
	11	43.3
	12	24.8
	トータル	38.0
4	13	62.4
	14	20.3
	15	41.5
	16	51.6
	トータル	44.0
5	17	45.8
	18	61.9
	19	7.5
	20	8.1
	21	46.1
	22	25.6
	23	54.8
	24	45.0
	トータル	36.9
6	25	34.2
	26	33.6
	27	65.8
	28	51.2
	29	26.6
	30	41.8
	31	54.1
	32	30.0
	トータル	42.2

〈旧政治・経済〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	55.5
	2	69.1
	3	10.5
	4	14.1
	5	58.3
	6	40.7
	7	69.0
	8	49.7
	トータル	45.9
2	9	47.7
	10	31.3
	11	84.3
	12	72.1
	13	34.2
	14	53.4
	15	78.6
	16	54.0
	トータル	56.9
3	17	53.7
	18	66.7
	19	30.1
	20	45.9
	21	66.3
	22	35.2
	23	60.4
	24	54.5
	トータル	51.6
4	25	75.4
	26	53.3
	27	43.3
	28	67.8
	29	31.8
	30	32.0
	トータル	50.6

〈旧倫理, 旧政治・経済〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	70.5
	2	43.2
	3	90.6
	4	91.1
	トータル	73.8
2	5	66.3
	6	67.7
	7	49.0
	8	97.7
	トータル	70.2
3	9	56.9
	10	52.8
	11	68.6
	12	91.9
	トータル	67.6
4	13	41.4
	14	84.9
	15	78.2
	16	53.4
	トータル	64.5
5	17	83.8
	18	16.9
	19	69.0
	20	78.8
	トータル	62.1
6	21	52.4
	22	90.8
	23	78.3
	24	65.5
	25	84.3
	トータル	74.3
7	26	60.6
	27	60.7
	28	40.7
	29	71.0
	30	63.9
	31	37.5
	32	75.1
		トータル

〈情報 I〉

問題番号	解答番号	正答率	
1	ア	18.8	
	イ	84.0	
	ウ	88.0	
	エ	77.9	
	オ	87.3	
	カ	61.0	
	ク	80.6	
	コ	57.8	
	サ	45.9	
	シ	34.2	
		トータル	63.6
	2	ア	65.3
イ		82.4	
ウ		12.9	
エ		50.2	
オ		37.6	
カ		63.9	
キ		90.5	
ク		52.1	
ケ		61.5	
		トータル	57.4
3		ア	66.9
		イ	44.5
	ウ	86.4	
	エ	82.8	
	オ	65.9	
	カ	64.7	
	ク	37.1	
	ケ	37.5	
	コ	35.4	
	サ	45.8	
	シ	30.1	
		トータル	54.3
4	ア	74.0	
	イ	78.7	
	ウ	70.9	
	エ	32.0	
	オ	58.8	
	カ	88.9	
	キ	66.1	
	ク	44.3	
	ケ	37.8	
	ス	37.5	
		トータル	58.9

〈旧情報〉

問題番号	解答番号	正答率	
1	ア	28.5	
	イ	88.6	
	ウ	92.3	
	エ	87.9	
	オ	91.6	
	カ	81.5	
	ク	96.8	
	コ	95.2	
	サ	88.8	
	シ	95.3	
	ス	68.8	
	セ	87.9	
ソ	24.3		
タ	62.9		
チ	50.4		
	トータル	76.1	
2	ア	90.5	
	イ	76.1	
	ウ	67.9	
	エ	85.3	
	トータル	79.9	
3	ア	69.6	
	イ	96.4	
	ウ	69.2	
	エ	71.6	
	トータル	76.7	
4	ア	57.8	
	イ	85.8	
	ウ	78.5	
	エ	88.9	
	オ	88.8	
	カ	95.5	
	キ	91.2	
	ク	90.8	
	ケ	80.3	
		トータル	84.2
	5	ア	81.2
		イ	72.8
ウ		88.3	
エ		83.7	
オ		80.1	
カ		79.8	
ク		63.1	
ケ		65.9	
コ		61.9	
サ		74.5	
シ		47.4	
		トータル	72.6
6	ア	91.9	
	イ	94.2	
	ウ	98.4	
	エ	94.2	
	オ	64.8	
	カ	92.8	
キ	88.5		

問題番号	解答番号	正答率
6	ク	92.4
	ケ	86.3
	コ	80.6
	サ	90.5
	トータル	88.6

学習対策

ここでは、教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお、大問ごとの講評、学習のアドバイスは  **模試ナビ** 河合塾 全統模試 学習ナビゲーター に掲載していますので、確認をしてください。

英語

【リーディング】

本文に書かれていない情報、本文と内容が異なる情報を排除する

第1問

読解問題(案内)

今回の第1問では、従来の全6問型の第1問Bを出題した。共通テストの第1問と第2問は、第3問以降に比べて読む英文の量が少なめなので、「本文の中からいかにうまく問われている情報を探すか」という点に注意しさえすれば、悪くても6~7割の得点が取れるはずである。しかし、今回の第1問では、問1と問3の正答率が5割に満たないと思われる。第1問で十分な得点が取れないようでは、その他の大問でよい点数を取る可能性は低い。

問1は、3つのツアーのそれぞれに関する文章を読んで正答を選ぶ問題だったが、各選択肢の冒頭に a central area / a church / a gelato factory / a pair of leaning towers と場所の名前が明記されているので、読む箇所は限定されるにもかかわらず、正解ではない「本文に書かれていない情報」を含む2つの選択肢①と③を選んでしまった受験生や、「本文と内容が異なる情報」を含む②を選んだ受験生が一定数いることだろう。①と③は、concert halls と create が本文に書かれていないし、②は under construction for a thousand years が本文に書かれている内容と異なっている。①の concert halls は、本文のどこにも出てこない情報であり、③の create も「ジェラートツアー」

の中に出ていない情報である。try 「試食する」を create 「作り出す」と同じ意味だと誤読するとこの選択肢を選んでしまうことになる。②の under construction for a thousand years 「千年間建設中である」に関しては、「教会ツアー」の本文に construction began in the 14th century 「建設が14世紀に始まった」と書かれているが、単純な計算でわかるように、14世紀に始まった建設は「千年以上続いている」とは言えないはずである。

今回の共通テストは夏に行われたので、受験生はまだ語彙力も十分ではないであろうし、誤りの選択肢の切り方の練習も不足している状態だと思うが、少なくとも共通テストの中で最も得点の取りやすい第1問でこのような状態では先が思いやられる。次回の共通テスト模試では、ぜひ「本文に書かれていない情報」や「本文と内容が異なる情報」を排除するのがもっとうまくできるようになっていることを望む。

【リスニング】

聴き取った複数情報を統合・判断し、論点を整理しよう

第6問A 【対話文質問選択問題】

身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する会話や議論を聞き、話者の発話の要点を選ぶことを通じて、必要な情報を把握する力や、それらの情報を統合して要点を整理し、比較・判断する力を測定する問題

本問は、「ピーターが、友人のオードリーと島での暮らしについて話をしている」という状況での対話を聴き取り、それぞれの話者の発話から聴き取った情報を統合し、比較・判断しながら論点を整理する問題である。

まず、太平洋の小さな島に滞在し、とてもくつろげ、素晴らしい休暇を過ごしたというオードリーの発話を受け、ピーターが6回目の発話で on an island you also get beautiful scenery と言っていることを聴き取り、小さな島で暮らすことについて、島でなら美しい自然に囲まれて暮らすことができるというピーターの意見を理解する。

次に、ピーターの2回目の発話にある It's my dream to get away from the city and live on a small island — if I ever get rich enough! と、オードリーの7回目の発話にある Like you said, though, you have to be rich enough to make your dream come true in the first place. を聴き取り、2人の意見を比較し、夢を叶えるには十分に金持ちになる必要があるという点で二人の意見が一致していると判断する。【アドバイス】読み上げ回数が1回であるため、音声の流れる前のポーズ時間を利用して日本語で印刷されている「状況」と英語の選択肢を素早く読み、理解し、音声の流れる前に対話の内容について大体的見当をつけておく。実際に音声を聴く段階になると、必要な情報を聞き逃がさないように音声に集中し、注意して聴き取る。リスニングはリーディングと違い主導権は読み上げ音声にあるため、自分のペースで考えたりしているとあっという間に読み上げが終わってしまうので、選択肢にチェック程度の印を入れながら読み上げ速度に遅れないように聴き取りを進めるとよい。最後に、読み上げが終わった直後のポーズ時間を使って、聴き取った情報を整理し選択肢を選ぶと効果的に解答を導くことができる。

数 学

【数学Ⅰ，数学A】【数学Ⅰ】【旧数学Ⅰ・旧数学A】
設問意図を正しく理解し，効率よく解答しよう！

【数学Ⅰ，数学A】第1問〔2〕図形と計量

【数学Ⅰ】第2問 図形と計量

【旧数学Ⅰ・旧数学A】第1問〔2〕図形と計量
最寄り駅を表示するアプリについて考察する問題

共通テストで問われる力の一つとして「日常生活における事象を数理的に捉える能力」がある。本問の(2)では最寄り駅を表示するスマートフォンのアプリについて三角比の知識などを用いて考察するが、(1)はそのための準備となっている。(1)と(2)の関係性を見抜き、(2)を解答する際には(1)の結果をうまく利用したい。

(1)は3辺の長さが与えられた2つの三角形について余弦定理を用いて考察する。教科書の例題レベルの内容であり必ず完答したい。1つ目の三角形は(2)の(i)、2つ目の三角形は(2)の(ii)にそれぞれ対応しており、得られた結果が(2)で利用できる。

(2)では最寄り駅が表示されるアプリについて考察するが、考察対象となる3駅は(1)の三角形の3頂点と対応している。電車で移動するため、表示される最寄り駅が変化し、複数の駅が表示される線路上のポイントが生じる。(i)、(ii)ではそのようなポイントについて考えるのであるが、2定点からの距離が等しい点の集まりはその2定点を結んでできる線分の垂直二等分線であることに気づくことが大切である。(i)は3駅を頂点とする三角形ABCがABを斜辺とする直角三角形であるため、辺ABの中点が三角形ABCの外接円の中心であることに気づけば易しい。ただ、移動距離を移動時間に直す必要があるため、小学校で学んだことであるがそここのところで躓いた人もいたかもしれない。速さ、距離、時間の関係、および単位の換算には慣れておきたい。(ii)では三角形ABCが鈍角三角形となるためやや難しくなる。辺AB以外の辺の垂直二等分線と辺ABの交点を考える必要があるが、しっかりと図を描き、各頂点と電車を表す点との距離関係を調べることが大切である。

このような問題を正解するためには、安易な解法の暗記ではなく、しっかりと考えて問題を解くという経験を積んでいくことが有効である。

【数学Ⅱ，数学B，数学C】【旧数学Ⅱ・旧数学B】
問題文から数学的な意味を正確に読み取ろう

【数学Ⅱ，数学B，数学C】第2問 指数関数・対数関数
【旧数学Ⅱ・旧数学B】第1問〔2〕指数関数・対数関数
炭素14の残存率を指数関数・対数関数を用いて分析する問題

共通テストでは、日常現象を数学的なモデルに置き換えることにより分析する問題が出題されている。こうした問題では長い問題文から数学の意味を持っている部分を的確に読み取り、問題文の指示に従って日常現象を数学的なモデルに置き換えられるかで半分くらい勝負が決まる。本番は時間との戦いになる可能性が高いので、こうした問題文の読み取りの訓練を行っておこう。この問題の(2)では炭素14の残存率を表す関数 $h(x)$ を指数関数で表し、簡単な指数関数の計算問題を解いた後、 $h\left(\frac{T}{10}\right)$ の値を対数関数を用いて求めていく。その際に、(1)でも練習した常用対数表を読み取る力が必要になる。共通テスト本番でも常用対数表を利用する問題が出題される可能性があるため、この問題を通して常用対数表の利用の仕方を習得しよう。

【数学Ⅱ，数学B，数学C】【旧数学Ⅱ・旧数学B】
会話文を読み，解法の方針を立てよう

【数学Ⅱ，数学B，数学C】第4問 数列
【旧数学Ⅱ・旧数学B】第4問 数列
漸化式・群数列・数列の和に関する問題

(1)で漸化式に慣れたら、(2)の前半では最も基本的な漸化式を解く練習をする。誘導が丁寧なので、これを利用すれば解ける。このタイプの漸化式は類出なので、必ず解き方をマスターしよう。(2)の後半では会話で数列 $\{b_n\}$ の一般項について2つの方針が示されているので、これに従えば解答を導くことができる。共通テスト本番でも会話から解き方の方針が読み取れる問題が出題される可能性があるため、読み取りの訓練をしておこう。(3)は群数列の問題。群数列のポイントは、着眼している項が群の中での第何項であるかと数列全体の中での第何項であるかの対応関係をつかむことである。これも誘導に従って対応関係をつかもう。最後は数列の和を求める問題。これも各群の和を求め、それを利用することがポイントであると問題文の誘導から読み取れる。このように問題文についている色々な誘導を利用して短時間で高得点を取る訓練をしよう。なお、旧課程では、(3)の設問数を少し増やし、計算も少し複雑になるように出題した。

国 語

【現代文】
複数のテキストを視野に入れて解答を選ぶ作業に慣れよう

第2問 問5

本文と【資料】などを結びつけた読解を求める問題

大学入学共通テストの国語では、どの大問でも、複数のテキスト(文章や資料など)を用いた問題が出題されると考えられる。そうした問題では、出題の指示を正確に把握し、出題者の要求にかなう選択肢を選ぶという作業が重要になる。そして、第2問の問5はそうした問題の典型だといえる。

この問題では、【資料】と【参考文献の記載】とを読んだうえで、それらと本文とを関連づけ、(i)~(iii)の問いに答えることが要求されている。まず(i)の場合、空欄Xの直後に「〈新感覚派・横光利一〉の文体の特徴」とあることに注目し、【参考文献の記載】を根拠にして答えを選ぶ。次の(ii)も、空欄Y直前の「【資料】では……ということが指摘されている」という記述を手がかりにして答えを選ぶという仕組みである。そしてやや難しいかと思われるのが(iii)。空欄Z直前の記述からわかるとおり、ここで問われているのは、「【資料】を読んで」わかる「本文の魅力」である。したがって、各選択肢を慎重に検討し、本文にも【資料】にも矛盾しないものを的確に選ぶ必要がある。

複数のテキストを視野に入れ、それらの関係などを考えながら正解を選ぶというのは、きわめて面倒な作業である。しかし、そうした面倒な作業を早く正確に行えるようにならなければ、共通テストの国語での高得点は望めない。このことを確認したうえで、問題演習などに励んでほしい。

【古文】
学習場面を想定する複数文章問題では集中力が求められる

第4問 問4

解説文の空欄補充問題

共通テストでは、最後の設問が、生徒の学習場面を模した会話やノートなどを設定し、本文読解を誘導する問となることが多い。また、そうした場面に、本文とは異なる別の古文が引用され、それを参考に本文の解釈を問うこともしばしばである。今回の模試の問4は、解説

文中で、『源氏物語』の一場面の説明があり、それを参考にして本文の10行目の和歌を読ませる問題(i)、続いて引用された『うつほ物語』中の和歌の説明を問う問題(ii)、その『うつほ物語』の内容をふまえて本文の23行目以降の伊予守の心情説明を選ばせる問題(iii)の三問を課した。このような形式の設問では、読まなければならない文字数も増えるため、設定されている会話文や解説文中、解答に関係する部分を集中して読み取り、それぞれの小問で何を問われているのかを、はっきり意識することが重要になる。今のところ、このような形式は他の大学入試問題ではあまり見られないことから、過去問や予想問題など、共通テストの形式の問題で経験を積み、時間配分や要領を身につけておくべきだろう。

【漢文】

筆者の見解を把握する

第5問 問6

本文の趣旨についての説明問題

本問は【資料】をふまえた【詩】と作者の杜甫についての内容が問われている。そのためにはまず【詩】から、(1)戦いに勝利した反乱軍が歓喜するのは対照的に、長安の住民は唐の皇帝を思って涙を流していること、(2)杜甫は官軍の敗北を悲しんでいるという内容を捉える。次に【資料】Ⅰから、(3)敗戦後、房琯は慎重に行動しようとしたが、皇帝から派遣された宦官に戦いを急かされて再戦を挑んだために連敗したこと、(4)杜甫は房琯の二度目の敗北を惜しんだという内容を捉える。次に【資料】Ⅱから、(5)房琯が敗北の責任を問われ宰相を罷免された時、房琯と親しかった杜甫は房琯を優秀な人材だと弁護し罷免に反対したこと、(6)杜甫の弁護は皇帝の怒りを買って、房琯とともに左遷されたという内容を捉える。これら(1)~(6)の内容を元に各選択肢を検討し、合致するものが正解となる。

共通テストでは、一つの主題に基づく複数の文章が出題され、作者や登場人物の見解を読み取るだけでなく、文章に示された情報を整理する力が求められる。本問でも【詩】と【資料】Ⅰ・Ⅱという複数の文章を元に、作者杜甫の心情と、官軍と反乱軍の戦いをめぐる事実関係を的確に捉える必要がある。重要語や句形の意味・用法をおさえて文章を読解する練習に努めることで、趣旨を正確に理解する実力を養成しよう。

理 科

【物理基礎】

法則に基づく思考・判断をするように心がけよう

第2問 問4

空気抵抗を受けて落下する物体についての運動を考察する問題

共通テストでは、日常生活と関連する物理現象や物理実験を題材にした問題、考察過程が会話文形式で、論理の流れを理解し空所を補充する問題、式計算をそれほど行わず、原理や法則をもとに定性的に考える問題などが多く出題される。本問は会話文形式で、落下する物体に関しての基本事項の正確な理解と論理的に考える力の有無を試した。

自然科学は、自然界の原理や法則を発見し、それに基づき自然現象を判断する学問である。本問においても、根拠があいまいなまま「なんとなくこうなりそう」という取り組み方では、得点につながらないのはもちろん、そのあとの学習にも支障が出る。たまたま当たった・外れたということにならないよう、自分の判断を検証していくことが大切である。今回は、**11**は運動方程式から、**12**は力のつり合いから判断していくことがポイントとなる。「力」から物体の運動を捉えていくのが「力学」であるから、このように根拠のある判断をしていこう。「間違える」ということは、自分の理解を修正するチャンスでもある。本問においても、学習の手引きをよく確認し、どういった考えが誤りであるか、そして正しい考えはどういったものであるか、それらを理解するだけでパワーアップする。大切な機会と思ってほしい。

物理基礎は、かなり難易度を抑えて作成されているが、段階的な思考や複数作業が必要な問題はいくつか出題される。そのような問題で「雑な思考」をしてしまうと、間違えてしまう。雑な思考にならないためには、頭の中だけで考えず、「書く」「描く」という作業が有効である。これらは計算だけでなく、思考を深め、論理的に考える力を育てることに極めて有効である。「書く」「描く」ことで「なんとなく考える」から「論理的に、正確に思考する」ことを身につけてほしい。

【物理】

見慣れない問題は、読解力と典型問題に頼る

第2問 問1, 3, 5

円運動の問題

第2問の問1では、前文に書いてある内容を踏まえて等速円運動の周期と加速度の大きさの関係を見出す問題であるが、前文の内容は教科書に記載のない形での公式導出である。これに戸惑った受験生が多かったであろうが、問1をよく読めば、手続きと使う式が書かれており、この誘導に乗ることができれば易しい問題である。見慣れない問題に出会ったときこそ焦らずにしっかり文章を読むことが大切である。

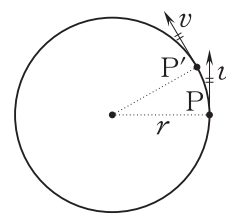


図1(a)

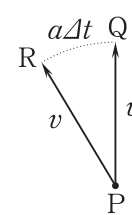


図1(b)

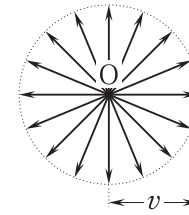


図1(c)

問3は円錐振り子の角度と周期の関係を実験データを元に評価する問題である。これもやはり見慣れないグラフが示されているが、問1と問2の内容から理論的に導かれる角度と周期の関係式から正解が判断できてしまう。焦らずに普段学んだ公式を頼りに計算を進めれば良い。

問5は回転盤上の3物体の運動を扱っており、摩擦係数や質量、問われる時刻などの一見バラバラな関係を紐解く複雑な問題に見える。しかし、どの物体も同じ半径、速さで円運動しているという事実を最優先に考えれば、いずれも同じ向心加速度での運動方程式を立てることが方針となる。そのときに向心力となっているのが静止摩擦力であり、滑り出す瞬間は最大摩擦力になっているということに気付けば、いわゆる普通の典型問題である。複雑な内容だと思っても、典型問題の流れを思い出し、その流れに帰着させることが大切である。

【化学基礎】

溶液の濃度，定義を正確に理解しよう

第2問 問2 a 問3

濃度の考え方と与えられた情報を整理する力が問われる

問2 a，問3を解く際のポイントは2点ある。1点目は溶媒，溶質，溶液という用語およびモル濃度，質量パーセント濃度の定義を正確に理解することである。2点目は水和物を溶かした場合の溶質の取り扱いである。これについては，問題文のはじめに記された「結晶中の水和水は溶媒の一部になる」という情報の理解が鍵になる。具体的には，シュウ酸二水和物 $(\text{COOH})_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ を溶かした場合，溶質は $(\text{COOH})_2$ ，ミョウバン $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$ を溶かした場合，溶質は $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$ であり，水和水は溶媒の一部になる。

問2 aでは，シュウ酸水溶液のモル濃度と体積から溶質であるシュウ酸の物質量を求められたか，シュウ酸二水和物の物質量とそれに含まれるシュウ酸の物質量が等しいことに気づいたかの2点が解法のポイントである。

問3 aは，ミョウバンを溶かしてつくった飽和水溶液 X と焼ミョウバンを溶かしてつくった飽和水溶液 Y に関する問題で，問題文の最後にある「水溶液 X と水溶液 Y の質量パーセント濃度は等しい」という情報が解法の鍵になる。質量パーセント濃度は，溶質 $(\text{AlK}(\text{SO}_4)_2)$ の質量に対する水溶液の質量の比をパーセントで表したものである。したがって，水溶液 X と Y で，水溶液中の $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$ の質量に対する水溶液の質量の比が等しいことに着目すれば，X に含まれる $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$ の質量が求められる。ここで注意してほしいのは，X，Y がいずれも水 100 g にミョウバンもしくは焼ミョウバンを溶かしたことから，溶質の $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$ の質量がどちらも 40 g で等しいわけではないことである。水溶液 X では溶媒の水は，水 100 g にミョウバンに含まれていた水和水を加えたものである。なお，b は，a で求めたミョウバン 110 g に含まれる $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$ の質量から， $\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$ と H_2O の物質量の比を求めることによって解法に至る。

【化学】

問題文の記述と化学の原理・法則を結びつけて解答を導く力を養おう！

第3問 問4 化学平衡，反応速度

原理・法則や一般的な傾向を的確に当てはめて判断する問題

$\text{N}_2\text{O}_4(\text{気}) \rightleftharpoons 2\text{NO}_2(\text{気})$ の可逆反応に関する問題である。

a は，圧平衡定数 K_p と濃度平衡定数 K_c の関係式を導く問題である。理想気体の状態方程式から，例えば気体 X の分圧は， $P_x = [X]RT$ と表されることを用いる。類題を解いた経験があれば解きやすい。

b は， $P_{\text{N}_2\text{O}_4}$ と P_{NO_2} の関係を表す正しいグラフを選択する問題であり，温度一定では平衡定数の値は一定であることをもとに判断する。

c は，平衡の移動および反応速度に関する考察問題である。温度を高くすると NO_2 の赤褐色が濃くなったことから，平衡移動の原理(ルシャトリエの原理)を当てはめることで，正反応は吸熱反応であると判断することができる。また，もとの平衡状態と新しい平衡状態での反応速度を比較すると，反応速度に影響する二つの要因(温度と濃度)について，逆反応ではいずれも反応速度が大きくなるように影響すると判断する。したがって，平衡状態では正反応の速度 = 逆反応の速度であることから，正反応の反応速度に関しては温度の影響が大きいと判断して答えを決める。

大学入学共通テストでは，問題文の記述や表，グラフに関して，化学の知識や原理・法則に基づいてその内容を的確に把握・分析した上で，原理・法則を当てはめて解答を導く，思考力を要する応用問題が出題される。また，分析した結果に適するグラフを判断して選ぶ問題も多く出題される。問題内容を正しく理解するためには，教科書の全範囲にわたって万遍なく重要事項を身につけておく必要がある。また，思考力・判断力を養い，グラフ問題にも対応できるようにするためには，問題演習が欠かせない。問題集や模試，講習会などを利用して，できるだけ多くの問題に取り組み，化学の知識を広げ理解を深めるとともに，着眼点を発見するカンや原理・法則を活用するコツをつかんでいこう。

【生物基礎】

細胞周期各期の経過に要する時間を算出しよう！

第1問 問6 細胞周期

細胞周期各期の時間を算出し，DNA量の変化を考察する問題

共通テストの第1問は「生物の特徴」の分野からの出題が予想される。今回は，Bで細胞周期に関する考察問題を出題した。

本問では，2種類の植物細胞における細胞周期の各期の経過に要する時間の割合の違いを算出し，DNA量の変化を示すグラフに変換する考察問題であった。

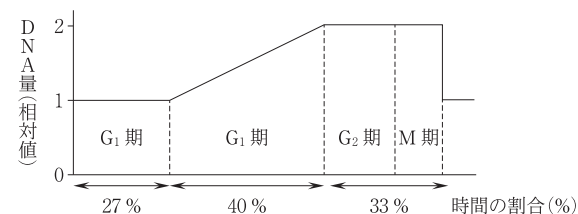
細胞周期の各期に要する時間の割合は以下の式によって求めることができる。

$$\frac{\text{ある時期に要する時間}}{\text{ある時期の細胞数}} \times \text{細胞周期に要する時間} = \frac{\text{観察した全細胞数}}{\text{観察した全細胞数}}$$

この関係式を利用して，表1に示された細胞周期の各期の細胞数から，細胞周期の各期の経過に要する時間の割合を算出すると，下表のようになる。なお，下表に示したものは植物Pの細胞のみであるので，植物Qの細胞についても同様に求めてみるとよいであろう。

植物P	G ₁ 期	S期	G ₂ 期	M期	全体
細胞数(個)	400	600	300	200	1500
時間の割合(%)	27	40	20	13	100

上記の結果をもとに，細胞周期の各期におけるDNA量の変化を示すグラフを作成すると，下図のようになる。



共通テストでは，与えられた表やグラフを利用して，計算・考察する問題が出題される。このような問題に対応していく力を養うため，全統模試を活用して様々な考察問題に取り組むとよいであろう。

【生物】

教科書の知識を活用し、設問文にもとづいて考察しよう！

第4問 問4 光合成

光合成の過程に関する知識を活用して、考察する問題

この問いを解くためには、光合成の過程に関する正確な知識が必要です。まずは、チラコイドの光化学系Ⅱにおいて水(H₂O)が分解されて酸素(O₂)が生じること、チラコイドの光化学系ⅠにおいてNADP⁺が電子を受け取ること、二酸化炭素(CO₂)がストロマのカルビン回路(カルビン・ベンソン回路)で利用されること、カルビン回路では、NADPHが酸化されてNADP⁺が生成されることといった知識が必要でした。そして、これらの知識をもとに、設問文の内容にもとづいて文章の空欄に入る適切な語句を考察する必要があります。

光合成の過程や、NADP⁺・NADPHなどの用語自体は多くの受験生が教科書で学習して知っているはずですが、模擬試験では正答率に大きな差が生じます。その理由の一つは演習量の差です。大学入学共通テスト生物(以下、共通テスト)では、教科書の知識を理解して応用する力が求められるので、教科書の知識をただ知識として覚えているだけでは共通テストの問題を攻略するのは難しいのです。教科書の知識を理解し応用できるようになるには、考察問題の演習が効果的です。意識的に考察問題の演習を行いましょ。

ただし、共通テストでは「考察力」というワードが目立っていますが、これには注意が必要です。確かに、共通テストは、知識だけで解ける問題の割合が低く、解答に考察を必要とする問題の割合が高くなっています。しかし、「考察を必要とする問題」というのは、教科書の知識がなくても解けるという意味ではありません。もちろんそのような問題も出題されますが、「考察を必要とする問題」の多くは、この第4問の問4のように、教科書の正確な知識にもとづいて、与えられた条件から考察する力を要求される問題なのです。そのため、教科書の内容を理解することを決して軽んじてはいけません。まずは教科書に載っている知識をしっかりと習得することが重要です。その上で、考察問題の演習などを通して読解力と考察力を養っていきましょう。

【地学基礎】

必要な情報を抽出し、論理的に考える力を身につけよう！

第1問 問6 柱状図

柱状図から断層の運動を判断する問題

柱状図はボーリング調査を行った場所だけの情報があり、その他の場所の地質は柱状図や問題文から得られる情報を用いて推定する必要があります。問題文や柱状図にある多くの情報から、必要な情報を抽出して、地層の形成過程などを論理的に考えることができたかを確認しておこう。

本問では、まず、断層がどのあたりを通るのかを把握することが重要である。断層が存在するのはQ地点のみであり、文章中に断層は急な角度で西に傾斜していると書いてあるので、解説の図1-6のようにP地点やR地点にかからないような急な角度で西に下がるような断層を柱状図に書き込もう。

次に、下の地層ほど古いという地層累重の法則を利用する。Q地点の断層のすぐ上には古生代のE層、すぐ下には新生代のC層が見られるが、上にあるE層の方が古く、下にあるC層の方が新しい。これは地層累重の法則とは逆の状態になっている。この原因は、もちろん断層の運動によるものである。かつてはもっと下の方にあったE層が、断層の運動によって上昇してきたため、断層の西側の地盤が相対的に上昇したと判断できる。断層の上側の地盤を上盤、下側の地盤を下盤といい、本問では断層の上側である西側の地盤が上盤となり、上盤が相対的に上がっているのが逆断層となる。

本問は考え方が他にもあり、解説の図1-6のように、かぎ層である凝灰岩層を断層の西側と東側でそれぞれ結んで、かつては1本の直線だったものが断層によってずれたと考えると断層の動きを推定することもできる。

本問を間違えた受験生は、問題文や柱状図からどのように必要な情報を抜き出して、どのように考察すればよいかを考えながら十分に復習をしてほしい。柱状図などの地質図を用いた問題を手早く解くためには、ある程度の慣れが必要である。なるべく多くの問題を練習して慣れておこう。

【地学】

HR図を作成して考えよう

第5問 問4 恒星の分類と特徴

作図から得られる情報を活用する問題

本問は、与えられた恒星の諸量(絶対等級、スペクトル型、表面温度)をもとにHR図を作成し、HR図上で読み取ることができる恒星の分類や特徴についての正誤を判定する問題である。問題の図2には、HR図の軸(棒)と太陽の位置のみが描かれており、表1で与えられた恒星の諸量は、自分で図2に記入して解答することが求められている。

恒星の絶対等級とスペクトル型がわかると、HR図上で恒星の位置を記入(プロット)することができる。記入したHR図上で分布から、恒星を主系列星、赤色巨星、白色矮星に分類することができ、分類できると、半径や密度、進化の段階を比較することができる。また、HR図上で分布から、主系列星どうしの半径・質量を比較ことができ、質量が比較できると、寿命の比較もできるようになる。

このように、HR図から恒星のさまざまな情報を得ることができる。これまで、複数の恒星がすでにプロットされたHR図が問題図として提示されるパターンが出題が多かった。共通テストでは、今回のように、問題の図などに、解答に必要な要素を自分で書き込むというパターンの出題(自分で作図をして解答することをねらいとした出題)が見られる。そのような問題に対応するためには、教科書・テキストや資料集の図、問題に与えられた図を活用するだけでなく、日頃から自分で作図し、描図をする力を養うことが重要である。

例えば、今回のHR図であれば、縦軸の絶対等級は5等刻みに目盛りを取り、横軸のスペクトル型は等間隔で良いのでO型からM型まで順に記入した軸を描く。まず、絶対等級5等・スペクトル型G型の位置に太陽を記入して、それから、太陽を中心に左上から右下にかけて細長く帯状の主系列星の領域を描く。主系列星の領域を挟んで、右上に赤色巨星、左下に白色矮星の領域を示す。

自分で描図するためには、元の図(教科書などの図)をよく観察する必要があり、自分で描図できるようになると、その図の意味やポイントに気づくことができる。

地理歴史

【地理総合、地理探究】【旧地理B】

与えられた情報をもとに、常に比較を意識して、より可能性の高い選択肢を選ぼう

【地理総合、地理探究】第3問 問5

【旧地理B】第1問 問5

自然災害の総発生件数と死者数

本問は、世界の自然災害の総発生数と死者数に関する設問である。東アジアに位置する日本や中国とともに、狭まるプレート境界付近の変動帯に国土が位置し、地震災害が多く発生してきた。また、沿岸部を中心に多雨地域が含まれ、熱帯低気圧の台風が付近の海域で多数発生し襲来する頻度も高く、暴風などの被害を受けるだけでなく、梅雨や秋雨の時期に集中豪雨が発生するなど洪水の被害も多い。表中のハとヒを比べると死者10人以上の被害をもたらした自然災害の総発生数、死者数に大きな違いがあり、ともに多いハが東アジア、少ないヒがヨーロッパである。全体では、東アジアは正しく選択できていたが、洪水を地震、熱帯低気圧と取り違えた受験生が多かったため、正答率が低くなってしまった。

本番に向けて、背景をふまえて統計を暗記しよう！

【地理総合、地理探究】第4問 問5

【旧地理B】第2問 問6

発電量に占める再生可能エネルギーの割合

本問は、発電量に占める再生可能エネルギーに関する設問である。表中の世界全体において、その他を除き最も割合の高いタは水力発電であり、タ(水力発電)の割合が高いXはノルウェー、Yはニュージーランドである。Yのニュージーランドは狭まるプレート境界の沈み込み帯にあたる北島で地熱発電が盛んであることも判定の根拠となる。したがって、残ったZがデンマークであり、同国で割合の高いチが風力発電である(◎が正答)。全体では約半数の受験生がZをデンマークと判定できていたが、誤答のノルウェー、ニュージーランドを選択した受験生はそれぞれ2～3割もいた。また、Xをデンマーク、タを風力発電とした誤答は、正答に次ぐ割合であった。

【歴史総合、日本史探究】【旧日本史B】

「歴史総合」の学習の進捗状況を再確認しよう

【歴史総合、日本史探究】第1問 問1・問2・問6

歴史総合における「世界史」分野の出題

来年度の入試から実施される新科目の歴史総合については、今のところ大学入試センターから発表された「試作問題」から出題のあり方を推測するよりほかない。「試作問題」によれば、日本史探究選択者にとっては「世界史的」な範囲からの出題に対処せねばならないことが予想される(歴史総合の教科書範囲からの出題ではあるが)。今回の共通テスト模試においては、主に第1問の問1と問2・問6がそれに該当する。問1では、Xでアメリカ独立革命の背景に関する基本知識を、Yはアメリカ独立革命とフランス革命の影響関係(前後関係)を理解できていれば正解を導くことができる(「近代化」の視点)。問2のXは、イギリスという先進国からの輸出品が工業製品であることが理解できていれば正解を導くことができる。Yは、西インド諸島とアフリカ西海岸の産業構造や経済的なつながりから正解を判断するものである(「グローバル化」の視点)。問6では、アメリカ合衆国と日本の大衆化についての基本知識を問うた(「大衆化」の視点)。

問1・2・6とも、歴史事項の細部の暗記ではなく、基本事項の理解から正解可能である。「近代化」「大衆化」「グローバル化」といった歴史総合のキーワードに留意しつつ、教科書の重要事項について、背景や影響(意義)についてもしっかりと学習しておきたい。

用語の正確な理解を！

【歴史総合、日本史探究】第5問 問4

【旧日本史B】第4問 問4

江戸時代の流通経済についての理解を問う問題

江戸時代の物流に関連する6本の文章が、江戸時代の流通機構図のどの位置に該当するのかについて確認した問題である。受験生にとっては、「蔵物」や「納屋物」といった用語は既知のものであろう。一方、用語の内容を正確に理解したうえで、流通機構図のなかでどこに位置づけることができるのか、といった点まで十分に理解できていただろうか。共通テストでは、思考力・判断力が問われるが、そのベースになる正確な知識を着実に習得しておきたい。

【歴史総合、世界史探究】【旧世界史B】

用語の概念や出来事を正しく理解しよう！

【歴史総合、世界史探究】第1問 問2

新科目「歴史総合」の問題のうち、日本史からの問題

「歴史総合、世界史探究」の試作問題では、第1問が新科目の「歴史総合」の問題で配点は25点。「世界史探究」の知識を活用して解ける問題も多いが、「世界史探究」の学習だけでは解けない日本史分野のみの出題も見られる。高得点を目指す人はそのような問題への対策が必要であり、例えば今回の問2がそれに当たる。問2を解くにあたっての「ハードル その1」は、渋沢栄一が設立した大阪紡績会社と官営模範工場の富岡製糸場のどちらが「日本の綿糸の分野」の発達に関わるのか。つまり、紡績と製糸の違いを理解しているかどうかである。紡績が綿花から綿糸を紡ぐこと、製糸が蚕の繭から生糸を作ることが分かっているとまず解けない。「ハードル その2」は、日本の綿糸の輸出量が輸入量を初めて上回った時期が日清戦争後と知っているかどうか。その上で、日本が「遼東半島・台湾などを獲得した」のは日清戦争の下関条約という知識と合わせて、cと判断する必要がある。「歴史総合」の教科書の多くには、日本の綿糸の生産と輸出入の変遷についてのグラフ・表が載っている。「歴史総合」を学ぶ時には、教科書のグラフ・表のほか、史料文・図版などに目を通してよくとよい。

問題文を落ち着いて読み、知識と照らし合わせよう！

その知識の中には地理的知識も必須！

【歴史総合、世界史探究】第2問 問1

【旧世界史B】第2問 問2

文章から得られる情報と、知識を総合して解答する問題

この問題は、先生の最後の発言「第4回十字軍を先導した都市は、同じイタリアの都市である **ア** と商業覇権をめぐって対立していた」を正しく読み取り、「第4回十字軍を先導した都市」は「ヴェネツィア」だから、**ア**にはヴェネツィアと地中海交易で対立していた「ジェノヴァ」が入ると判断した上で、**イ**が大西洋沿岸部に位置することを読み取り、「フランドル地方」が妥当と判断する問題である。文章を思い込みではなく正確に読む力、教科書から習得した知識と結び付け、総合的に考える力が必要である。その知識には地理的知識も含まれる。地理的知識の習得には、教科書の地図を活用しよう。

公 民

【公共、倫理】【旧倫理】

得点を確保するための判断力を身につけよう

【公共、倫理】第5問 問3

【旧倫理】第1問 問3

古代東洋思想についての知識・理解を試す

正解である①で扱われている鄒衍の陰陽五行説について、きちんと押さえられていた受験生はかなり少なかったことだろう。だが、教科書での鄒衍の掲載頻度はかなり高く、ほぼ全ての教科書に登場している。とはいえ、その扱われ方は本文や脚注ではなく、たとえば「諸子百家の思想家」という一覧表の中に登場する形がほとんどである。そのため、鄒衍について見落としていたというのも、無理からぬところがあると言えるかもしれない。

しかし、今回の設問については、確実に正解できていなければならない。それは、残る選択肢②③④が不適当であることは当然に見抜かなければならないことであり、消去法で正解を確定できるからである。②は韓非子が法治主義を説いたこと、③は大乘仏教ではなく上座部仏教の考えであること、④は世親が唯識思想(すなわち世界の存在は全てただ心の作用が生み出したものであるという考え)を説いたことは、いずれも基本事項として確実に押さえておかなければならない事柄である。したがって、適当なものが一つあることを前提にすれば、②③④が明らかに不適当である以上、正解は①だと容易に判断できるわけである。

もちろん、教科書での掲載のあり方はともかく、鄒衍がほとんどの教科書に登場していることは事実であり、したがって本番の共通テストでも出題される可能性は当然にある。今回のこの設問をきっかけに、鄒衍についての知識をきちんと補充しておこう。模擬試験は、実力測定の間であるとともに、自分の知識を補充し精確化する絶好の機会でもあるのだ。

【公共、政治・経済】【旧政治・経済】

設問の条件に従って選択肢の正誤を判断する能力を磨こう

【公共、政治・経済】第5問 問6

【旧政治・経済】第1問 問6

設問で与えられた条件をもとに、選択肢の正誤を判断する問題

本設問で与えられた条件をもとに、国際司法裁判所(ICJ)が裁判を行うことができる法的な紛争を判別する能力を試すことをねらいとしている。

まず、ICJが紛争当事国双方の同意をもとに国家間の紛争を裁判することは受験の知識としてもっておきたい。ICJ規程では、その「同意」のあり方について詳細な規定が設けられており、それらはICJの判例においても確認されている。それらをまとめたノートを読み取り、それらに基づいて、ICJが裁判できる事例を判別する。

ア：まず、訴訟当事者が国家なので、ノート中の1.は満たしている。その上でノート中の2.の(b)に該当する形で当事国の同意が示されているので、ICJは裁判を行うことができる。(b)は当事国間であらかじめ法的紛争についてはICJに付託することに同意する条約(裁判条約)を結んだり、そのような内容をもつ条項(裁判条項)を定めたりして、同意を表明するというものである。アではA国とB国との間で、裁判条項をもつ条約を締結している。

イ：まず、訴訟当事者が国家なので、ノート中の1.は満たしている。その上でノート中の2.の(c)に該当する形で当事国の同意が示されているので、ICJは裁判を行うことができる。(c)は法的な紛争に関してICJの強制管轄を受諾することを宣言するという形で同意を表明するもの(選択条項受諾宣言)である。イでは、C国もD国もICJの管轄を義務として認めることを宣言している。

ウ：ノート中1.により、ICJは裁判を行うことはできない。ウには「ILOは、……ICJに訴え」とあるが、1.ではICJに提訴できるのは国家のみと書かれている。ILOは国家ではなく国際機関なので、ICJへの提訴権をもたない。

本問を解答するうえで、ICJについて知識がなくても、ノートを読んで選択肢の内容を精査しても正解は不可能ではないだろう。ただ、ICJが紛争当事国双方の同意をもとに国家間の紛争を裁判するという知識をもっていれば、設問で問われていることがすぐに理解できるので、スムーズに解答できるだろう。思考力や判断力が試される共通テストとはいえ、基礎的な知識の習得を怠ってはならない。

【旧現代社会】

知識力とともに推定判断力も磨こう

第1問 問7

プライバシーの権利に関する説明文を用いた問題

第1問・問7は、プライバシーの権利について解説した説明文を読み、ア～ウの三つの空欄に入る語句・記述を選び取る設問である。

一つ目の空欄であるアには、Bの「幸福追求権」が入る。プライバシーの権利は日本国憲法第13条の幸福追求権を根拠として主張されている、という教科書的な知識事項を習得した受験生は容易に判断できただろう。

二つ目の空欄であるイには、Dの「自己に関する情報を自らコントロールする権利」が入る。プライバシーの権利をめぐるのは、日本では当初、『宴のあと』事件における東京地方裁判所の判決で、「私生活をみだりに公開されない権利」として理解されたが、社会の変化に伴い、より広く「自己に関する情報を自らコントロールする権利」(自己情報管理権)として理解されるようになった。この知識事項も教科書的なものであり、知識力を磨いた受験生は的確に判断できただろう。

三つ目の空欄であるウには、Fの「有用性に配慮しつつ」が入る。この空欄に入る記述は、説明文中のウを含む段落の記述の趣旨から推定することで判断することができる。この段落では、個人情報「個人のプライバシーに関わる大切な情報である」が、「それらの情報を活用することで、行政や医療、ビジネスなど様々な分野において、サービスの向上や業務の効率化が図られるという側面もある」と説明されており、ウがこうした説明を受けた空欄であると推定できれば、Fの「有用性に配慮しつつ」が入ると判断できる。

ここまで見てきたように、この設問の空欄は、知識の定着度合い(知識力)を測る空欄と、説明文から推定して判断する力(推定判断力)を試す空欄からなっている。類似のつくりの設問は、共通テストでたびたび出題されている。日常の学習では教科書を用いて知識力を磨くとともに、模擬試験や過去問などを通じて類似の形式の問題を研究し、推定判断力も磨こう。

【旧倫理, 旧政治・経済】

国家間の協調についてゲーム理論の観点から考えてみよう

情報

第5問 問1

与えられた表を踏まえて会話を完成させる問題

ア：aの「A国もB国もともに協調を選択する」が当てはまる。会話の脈絡から判断して、この空欄には、A国とB国の点数の合計が最大となるような選択肢が入る。A国もB国もともに協調を選択すると、それぞれの国の点数が10点となり、両国の合計が最大の20点となる。bの「A国もB国もともに非協調を選択する」は入らない。このような選択をした場合、A国とB国の点数はそれぞれ5点ずつとなり、両国の点数の合計は10点にとどまる。

イ：bの「A国もB国もともに非協調を選択する」が当てはまる。空欄の直前にある「相手国がどちらを選択するかわからない状況下で、自国の点数の最大化だけを考える」という部分に着目しよう。まず、相手国が「協調」を選択した場合、自国が「協調」を選択すれば10点、「非協調」を選択すれば15点を獲得することになる。したがって、自国は自らの点数を最大化するために「非協調」を選択することになる。次に、相手国が「非協調」を選択した場合、自国が「協調」を選択すれば-5点、「非協調」を選択すれば5点を獲得することになる。したがって、自国は自らの点数を最大化するために「非協調」を選択することになる。以上のように、相手国が「協調」「非協調」のどちらを選択しようとも、自国は「非協調」を選択することになる。

ウ：dの「ある回に非協調を選択するよりも一貫して協調を選択した方がB国の点数は大きくなる」が当てはまる。Xの4回目の発言の趣旨を踏まえて考えよう。まず、「A国がトリガー戦略を採用し、B国が2回目に『非協調』を選択し、それ以降『非協調』を選択し続けた場合、B国の点数は4回目で35点(10+15+5+5=35)である。これに対して、「一貫して『協調』を選択した場合」、B国の点数は4回目で40点(10+10+10+10=40)となる。このように、B国は一貫して協調を選択した方が大きな点数を得られることになる。

本問のような、与えられた情報と会話の流れを踏まえて判断させる問題に対応できるように、日頃から準備を怠らないようにしましょう。

【情報I】【旧情報】

与えられた条件を正確に読み取ろう！

【情報I】第2問A 問4

【旧情報】第1問B 問4

DPCMによるデータの圧縮

音声や動画を記録する際に、最初の標本値と隣り合った標本値の差分のみを、次々に記録すれば、それぞれの標本値を完全に記録した場合に比べて、全体のデータ量を減少させる(圧縮する)ことができる。また、このように記録されたデータは、可逆的に元のデータを復元できる。本問では、この方式を単純化したモデルに基づいて、音声データの圧縮について考察した。会話文から与えられた条件を正確に読み取って、効率よく考えられるように意識しよう。

・問題文から読み取る必要があること

- ① 隣り合う標本値(量子化済み)間の差をとる。
- ② 初期値(t_1 での値)も含めて数値を符号化(2進法に変換)し、桁数を揃えてデータとする。

・解答に至る過程

まず、オを考える。最大の標本値は t_5 の16であり、これを2進法に変換すると、10000(5桁)となる。説明に、他の数値も「桁数を揃える」とあるので、 $t_1 \sim t_5$ のデータ量の合計は、 $5 \times 5 = 25$ ビットとなる。次に、工は上記の手順①、②に従って、数値を処理すると、次の表ようになる。

	t_1	t_2	t_3	t_4	t_5
標本値 ⁽¹⁰⁾	1	5	10	12	16
差分 ⁽¹⁰⁾		4	5	2	4
差分 ⁽²⁾		100	101	010	100
データ ⁽²⁾	001	100	101	010	100

⁽¹⁰⁾は10進法表記、⁽²⁾は2進法表記であることを示す。

初期値と差分⁽¹⁰⁾のうち、最大値は5であり、これを2進法に変換すると、101(3桁)となる。したがって、初期値と差分(4個)の符号化後のデータ量の合計は、 $3 \times (1 + 4) = 15$ ビットとなる。なお、上表には、参考のため、初期値と各差分の符号も示したが、最大値のビット数が分かれば解答できる(最大値以外の符号化は不要)。

「成績推移」過回成績表示 申請について

このたびは、第2回全統共通テスト模試を受験していただきありがとうございました。
さて、個人成績表には、過去にも全統共通テスト模試を受験されている場合、学力伸長度・学習成果を確認いただくために「成績推移」(過回成績)を表示しています。

しかし、各模試受験時に提出いただく受験届の基本事項(カナ氏名、生年月日、高校コード、学年、クラス、出席番号、電話番号)に過去の回と一致しない項目があった場合(同一の方と判断できず)個人成績表の「[5]成績推移」欄に過回成績が表示されないことがあります。表示されていない過回成績の表示を希望される場合は、以下の手順に従って申請していただければ、過回成績を表示した個人成績表を改めてお届けします。

学校一括で申込・受験された全統共通テスト模試個人成績表には、個人で申込・受験された回の成績は表示されません。このケースについては対応できませんのでご了承ください。また、右の申請用紙は「過回成績」表示専用です。個人成績表の他の項目や得点等について修正することはできませんのでご了承ください。

①送付先

右の申請用紙の太枠内をすべて記入し、31ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②申請用紙の記入方法

成績表示されていない過去の全統共通テスト模試の「解答用紙番号」「受験番号」を記入してください。

③提出していただくもの

1. 右の申請用紙
 2. 今回の模試の個人成績表(コピーの場合は第1面と第4面を提出してください)
*ただし、Web返却対象者は必要ありません。
 3. 成績推移欄に表示されていない過去の全統共通テスト模試個人成績表(第1面のコピーで可)
- ※ 提出いただいた個人成績表は、一緒に返却いたします。

上記を同封し、封筒の表に朱書きにて「第2回全統共通テスト模試 過回成績表示申請」と明記してお送りください。

④送付締切日

9月24日(火)河合塾到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

個人成績表は、10月8日(火)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 申請用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
 2. 利用目的…個人成績表に過回成績の表示および成績返却
…過回模試の受験届に記入された情報の確認と修正
- 上記の2点の利用目的以外には使用しません。

申請用紙の記入・提出方法についてご不明な点がございましたら、下記のフリーダイヤルへお問い合わせください。

※河合塾生(塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

模試受付センター(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

フリーダイヤル: 0120-977-558

*模試受付センターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2024年度 第2回全統共通テスト模試 「成績推移」過回成績表示 申請用紙

●太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ 氏名				生年月日	S ・ H	年	月	日
今回の 解答用紙番号	—			今回の受験番号			性別 (O印を)	男・女
在・卒高校名	学年	クラス名	クラス番号					
住所 (連絡先)	〒 ※マンション名、部屋番号まで記入してください。							
電話番号	() —	携帯電話番号	() —					
成績が表示されていない模試の 解答用紙番号を 記入してください。 ※受験番号は発 番されている場 合に記入してく ださい。	模試名	解答用紙番号			受験番号			
	全統共通テスト高2模試	—						
	第1回全統共通テスト模試	—						

※記入漏れがある場合、過回成績が表示できないことがありますのでご注意ください。

(過回成績表示についてのご確認)

個人情報保護により、高等学校、塾・予備校等の学校経由で申込み・受験された全統共通テスト模試個人成績表には個人で申込み・受験した過回の成績は表示されませんのでご了承ください。成績表示を希望される場合は、必ず過回の模試申込みの形態をご確認ください。

【河合塾記入欄】

受付日	受付者	返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577
※高校グリーンコース生以外の塾生の方は所属校舎へお問い合わせください。

* 河合塾模試受付センター／高校グリーンコース生専用フリーダイヤル (12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

■「成績推移」過回成績表示申請用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■「成績推移」過回成績表示申請用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) 【担当地区：北海道】	TEL(011) 708-8584
東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内) 【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】	TEL(022) 215-7581
関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) 【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】	TEL(048) 647-9581
首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】	TEL(03) 6811-5532
中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) 【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】	TEL(052) 735-1511
近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】	TEL(06) 6372-5731
中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) 【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】	TEL(082) 264-4581
九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) 【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】	TEL(092) 714-5711